

# 目 次

はじめに	2
<b>I 博物館概要</b>	
○設置目的	3
○基本的性格と方針	3
○沿革	4
○施設・設備	5
<b>II 平成10年度 組織・運営</b>	
○組織	7
○事業計画	7
<b>III 平成9年度のあゆみ</b>	
○職員	9
○日誌抄	10
○岐阜県博物館協議会	10
○実施事業の概要	11
○展示の入れ替え	12
○特別展	
1 「花と鳥のイリュージョン」 ～江戸の学問と芸術～	13
2 「薬草のふるさと伊吹」	14
○資料紹介展	
1 「大垣内貝類コレクション」	15
2 「世界の民俗資料紹介展」 ～くらしの中の木の文化～	16
○特別陳列	
「ふるさとの文化財紹介展」～可茂地区～	17
○マイミュージアムギャラリー	18
○(財)岐阜県文化財保護センター速報展	20
○調査研究・資料収集活動	
□自然部門	21
□人文部門	25
□マイ・ミュージアム部門	
1 マルチメディア情報センター	26
2 マルチメディア工房	27
3 ハイパーハイビジョン風土記 飛騨・郡上街道編制作	28
○教育普及活動	29
○図書資料寄贈者芳名一覧	33
○利用状況	36
○博物館関係団体	36
<b>IV 利用案内</b>	38

## はじめに

昭和51年5月人文、自然の総合博物館として開館した岐阜県博物館は、平成7年7月マルチメディア情報センターとしての機能を持つマイ・ミュージアム棟を加えて、「であい楽しい情報ステーション」をキーワードに、従来の調査研究、展示機能に加えて参加型機能をも持つ新しい博物館として、拡充発展してまいりました。

春の特別展「花と鳥のイリュージョンー江戸の学問と芸術ー」では、江戸時代後期の京画壇で写生画で主流を占めた丸山応挙や岸派の絵師の作品と、瑞浪市釜戸の旗本で、江戸で自然科学の研究サークル「赭鞭会」に参加して優れた動植物図譜を表し業績を残した馬場大助の作品を併せて展示しました。「江戸時代の人々の『花鳥』に代表される自然への温かなまなざしをよく捉えた展示である」「絵師の絵画と学問としての写生とを、自然を写すという共通の視点から捉えようとした、面白い試みである」と、専門家からも高い評価を得ました。

秋の特別展「薬草のふるさと伊吹」では、緻密で精力的な植物の現地調査に基づいた内容を、大型標本や精巧なレプリカで、また伊吹の薬草研究史や薬草の利用方法など幅広く扱った展示で、加えて春日村と共催事業を実施するなどダイナミックな取り組みで、折からの薬草ブームとも相俟って、県民の大きな関心呼びました。

資料紹介展「大垣内貝類コレクション」「世界の民俗資料紹介展」、特別陳列「ふるさとの文化財紹介展ー可茂地区ー」、文化財保護センターが開催した出土遺物速報展「土に刻まれた古代・中世ーコメづくり・モノづくりからー」もそれぞれ好評を得て、多くの愛好家の来館を得ました。マイミュージアムギャラリーでは年8回のそれぞれ特色あるコレクションの展示がなされました。おかげで秋には、博物館に開館以来180万人目の入館者を迎えることができました。

館蔵資料の面では、肉食恐竜アロサウルスの全身骨格複製標本、江戸中期の作家の手になると思われる稲葉正成（稲葉一鉄の養子、春日局の夫）画像など数点について充実を図ることができました。また、ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」も美濃路編、中山道編に続いて飛騨街道編と郡上街道編の収録も終わり完成することができました。

マルチメディア工房では、講座に参加した高校生の作品が全国ハイビジョン手作りフェスタで奨励賞を獲得するなど、十分な活用がなされています。こうした活動が評価され、平成9年度全国博物館大会において、その取り組みをまとめた前マイ・ミュージアム係長の論文が「棚橋賞」受賞の栄誉を受けることができました。

平成10年度は、いままでの実績と館員の調査研究、資料収集の成果に基づいて、夏の特展「つのはるかぶとむし」、秋の特展「能面へのいざないー白山山籠からー」をはじめとして、資料紹介展「岐阜にゾウのいたところ」「世界民俗資料紹介展」「出土遺物速報展」、特別陳列「ふるさとの文化財紹介ー東濃地区ー」、また4回目を迎える「恐竜ゼミナール」をはじめ各種講演会や講座など、多彩な、質の高い、だれもが気楽に、楽しんで参加できる事業を多数企画しております。マイミュージアムギャラリーでは年8回の個性的なコレクションや作品の展示を予定しております。

ここに、平成9年度の事業の記録と、平成10年度の事業計画の概要を紹介する館報21号を刊行しました。ご高覧いただき、ご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

美濃飛騨の自然と文化を未来に継ぐ、であい楽しい博物館

平成10年4月1日

岐阜県博物館長 高 田 晃

# I 博物館概要

## 〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

## 〔基本的性格と方針〕

### 1 基本的性格

- ・ 岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集、保管、展示、調査研究およびそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・ 県内外の博物館および相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・ 学校教育・社会教育との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・ 「ハイパーハイビジョン風土記」を主とした博物館情報を制作し、マルチメディアシステムによる情報の収集、加工、発信、受信を行い、情報化社会に対応した博物館を目指す。
- ・ 資料の収集および保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

### 2 基本方針

#### (1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

#### (2) 展示構成

展示は、常設展示と特別展示とする。

常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、だれにも親しめるよう平易な展示を心掛け、本県の歴史の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、内容において、前者よりやや高度なものとする。

特別展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。

展示の方法は、(ア)生涯学習の場として、幅広い層に親しめる展示 (イ)資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示 (ウ)各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示 (エ)できる限り実物資料の展示をするが、更に、図表、模型等多種類の資料

も活用 (オ)視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える設備 (カ)明確で分かりやすい解説とする。

展示室の主題と内容は次のとおりである。

#### ○人文展示室1（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」－原始時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

#### ○人文展示室2（人文課題展示）

主題「郷土の民俗と美術工芸」－特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

#### ○自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」－郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

#### ○自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」－特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

#### ○特別展示室（特別展示）

特定の企画とテーマを設けて年に数回展示する。

#### (3) 調査研究

- ・ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・ 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

#### (4) マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）

##### ・マイミュージアムギャラリー

個人などによって収集、所蔵されているコレクションを公開展示する。また、生涯学習の成果発表の場など多様な活用を図り、県民文化の交流の拠点とする。

##### ・ハイビジョンホール

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」により、岐阜県の歴史、文化、産業、自然などをハイビジョンで提供するほか、各種のハイビジョンソフトやハイビジョン放送を放映する。また、マルチメディア情報機器を活用し、各種の講演、研修会等の場とする。

##### ・マルチメディアスタジオ

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」を一人ひとりが自在に検索し、楽しみながら学習できる場とする。

また、マルチメディア機器の利用提供や技術的支援により県民のソフトづくりの工房（マルチメディア工房・ぎふ）としての役割を拡大する。

〔沿革〕

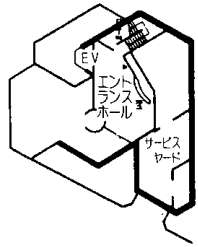
昭和46年3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	12月	自然展示室Ⅱを改装			
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	昭和61年4月	特別展「徳山の四季とくらし」	平成6年1月	イメージシュミレーションソフトの完成	
6～9月	博物館懇談会を設ける	7月	特別展「奥飛騨の自然」	20日	マイ・ミュージアム棟起工式	
昭和47年4月	博物館開設準備室を設置	9月	人文展示室Ⅰを改装	3月	大型ほ乳類足跡化石を展示	
6～9月	博物館懇談会を設ける	10月	開館10周年記念式典を挙行	4月	特別展「川に生きる－水運と漁労－」	
昭和48年8月	起工式挙行	昭和62年4月	特別展「濃飛の弥生時代」	8月	恐竜の歯等荘川村で発見	
昭和49年3月	展示実施計画樹立	7月	入館者110万人を突破	9月	特別展「美濃山地の自然」	
10月	定礎式	昭和63年1月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	10月	入館者160万人を突破	
昭和50年3月	展示工事着手	10月	特別展「飛騨の匠」	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）	
7月	本館建築竣工	旧徳山村民家移築復元	平成7年3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成		
昭和51年1月	展示工事完了	昭和63年4月	特別展示室ショーケース改修		ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」美濃路編ソフト完成	
4月	岐阜県博物館条例公布	特別展「ふるさとの湿原」	7月	特別展「岐阜の淡水魚」	4月	花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示
展示資料等製作完了		7月	中部未来博'88記念展「中山道－美濃十六宿－」	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一般公開	
5月	開館記念式典挙行 一般公開	10月	特別展「中生代の化石」	8月	恐竜ゼミナールG I F U'95開催	
「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」		平成元年4月	特別展「濃飛の古墳時代」	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史 発掘－律令国家の時代－」	
7月	皇太子・同妃殿下行啓	7月	特別展「ふるさとの野鳥」	7月	入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）	
8月	特別展「ふるさとの文楽」	8月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	8月	恐竜ゼミナールG I F U'95開催	
10月	入館料徴収開始	10月	特別展「移ろいゆく年中行事」	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史 発掘－律令国家の時代－」	
11月	特別展「熊谷守一展」	11月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	11月	入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）	
昭和52年5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」	平成2年4月	特別展「輪中と治水」	11月	県上第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設	
7月	特別展「郷土の化石展」	7月	特別展「白山の自然」	11月	円空シンポジウム「世界における円空」	
11月	特別展「鉄斎」		「恐竜足跡化石レプリカ」除幕式	平成8年5月	入館者170万人を突破	
昭和53年4月	入館者30万人を突破		グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」	
7月	特別展「濃飛の甲冑」		岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行	
10月	特別展「能面と装束」		入館者130万人を突破	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」	
昭和54年4月	入館者40万人を突破		特別展「濃飛の仏像」	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」	
7月	特別展「濃飛の先史時代」		岐阜県博物館協議会から中間答申		講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	
10月	特別展「世界の貝」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置	平成9年3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成	
11月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン－江戸の学問と芸術－	
昭和55年4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」	
5月	入館者50万人を突破	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島－その自然と歴史－」	11月	入館者180万人を突破	
7月	特別展「化石の世界」	11月	入館者140万人を突破		欄橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”－来るべき世紀の新しい博物館を目指して－」財団法人日本博物館協会表彰	
10月	特別展「糞虫山人」	平成4年3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申	平成10年3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成	
昭和56年4月	特別展「美濃の絵馬」		特別展「飛騨のあけぼの－交流する縄文・古代人－」		アロサウルス骨格標本展示	
5月	入館者60万人を突破		特別展「恐竜王国・恐竜－謎とロマン－」			
7月	特別展「御岳山は生きている」		特別展「近世に輝く濃飛の群像」			
10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」		入館者150万人を突破			
昭和57年4月	特別展「高賀山の信仰」		特別展「土と炎の芸術」			
7月	特別展「ふるさとの植物」		29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘			
10月	特別展「東洋の貨幣」		特別展「失われゆく植物」			
昭和58年4月	特別展「岐阜県の考古遺物」		「ハイパーハイビジョン風土記」			
5月	入館者80万人を突破					
7月	特別展「長良川」					
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」					
昭和59年4月	特別展「濃飛の戦国武将」					
7月	特別展「ふるさとの昆虫」					
8月	入館者90万人を突破					
10月	学習ビデオスタディコーナー設置					
昭和60年4月	特別展「濃飛の蘭学」					
7月	特別展「濃飛の縄文時代」					
10月	特別展「美濃の刀剣」					
	入館者100万人を突破					

〔施設・設備〕

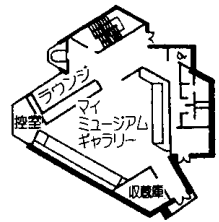
1 博物館

調整室 (ホール吹抜き)

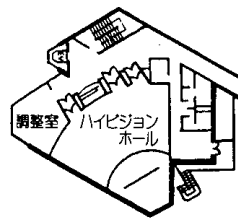
マイ・ミュージアム  
1階



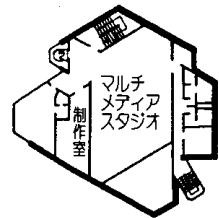
マイ・ミュージアム  
2階



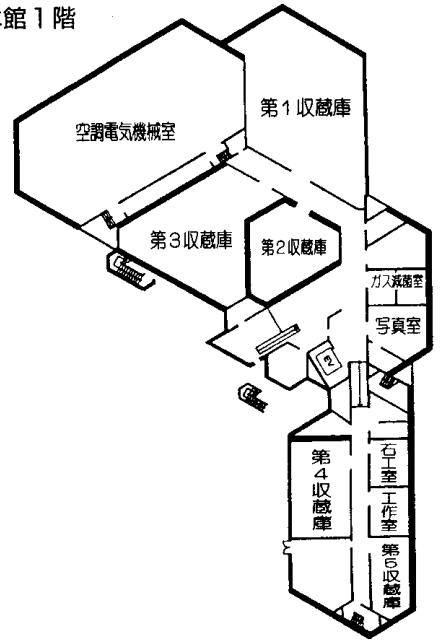
マイ・ミュージアム  
3階



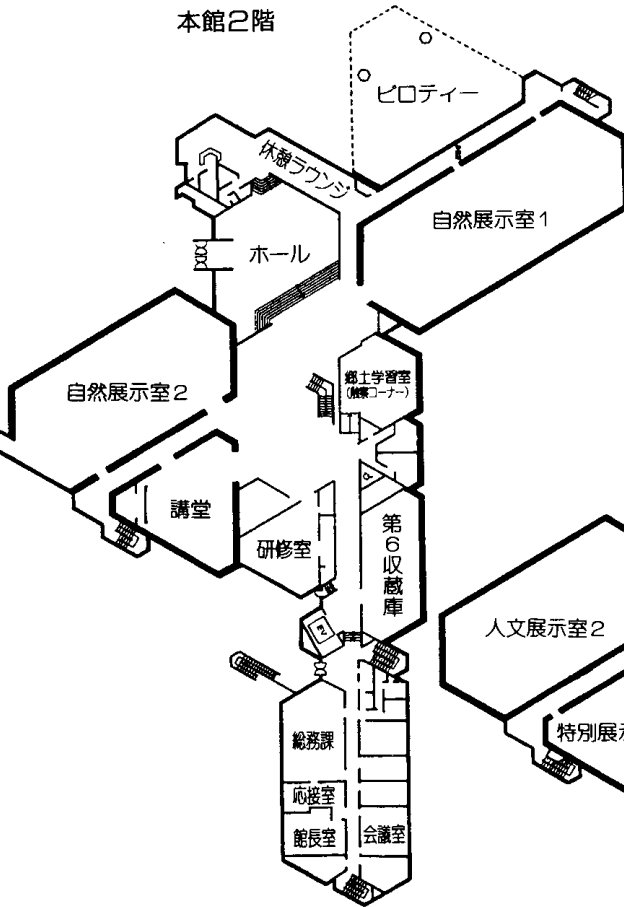
マイ・ミュージアム  
4階



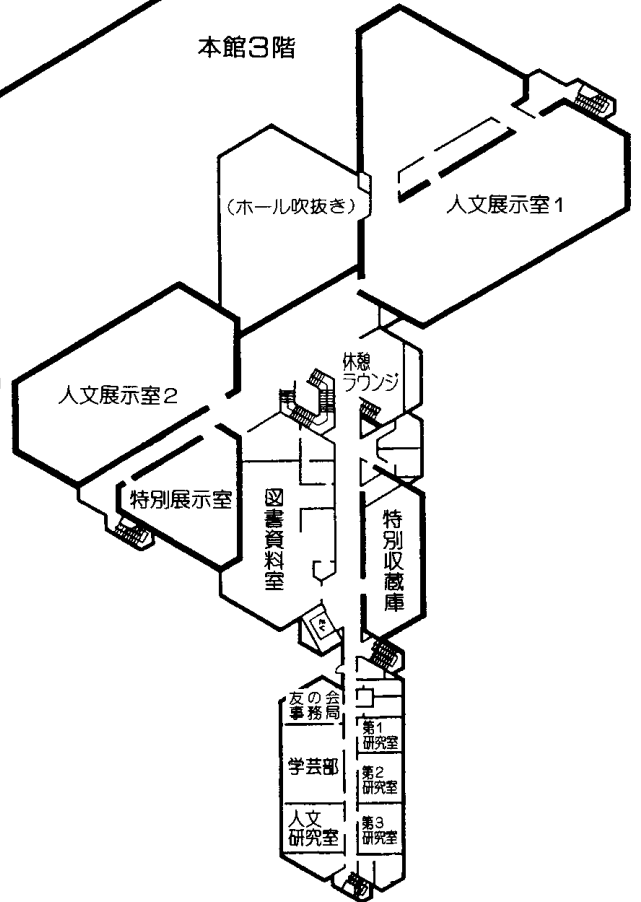
本館1階



本館2階



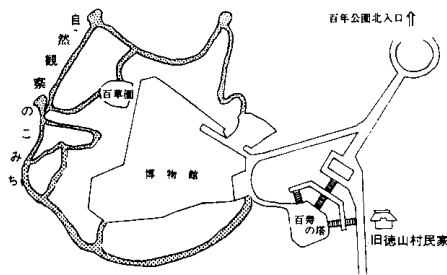
本館3階



・主要室名及び面積

本館	室名	面積(m <sup>2</sup> )	マイミュージアム	室名	面積(m <sup>2</sup> )	
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0	
	第2収蔵庫	126.0		2階	マイミュージアムギャラリー	202.3
	第3収蔵庫	192.0	収蔵庫		25.3	
	第4収蔵庫	99.4	収蔵庫		18.5	
	第5収蔵庫	55.0	3階	ハイビジョンホール	192.3	
2階	自然展示室 I	583.8	4階	調整室	47.0	
	自然展示室 II	478.8		マルチメディアスタジオ	制作室	206.3
	郷土学習室	95.4			制作室	31.2
	講義室	174.5			制作室	43.8
	研修室	93.2			制作室	43.8
	第6収蔵庫	142.8				
3階	人文展示室 I	942.2				
	人文展示室 II	478.8				
	特別展示室	193.2				
	図書資料室	232.0				
	特別収蔵庫	142.8				

2 館外施設



(1) 自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

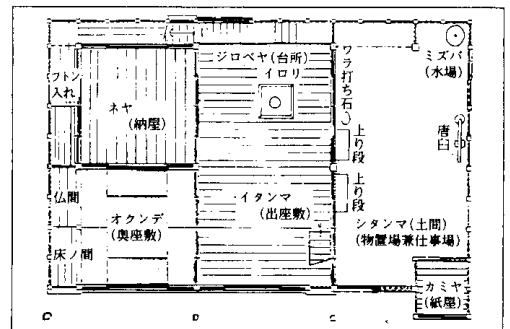
全長約830mで、途中見晴らし台が3ヶ所、万葉集の植物の案内、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、40本の樹木にQ&Aパネルを設置している。

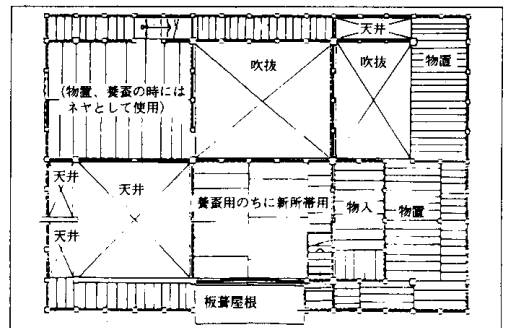
(2) 旧徳山村民家

徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり藤橋村になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料解放している。

- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 ブナ・トチ
- ・建面積 120.97m<sup>2</sup>
- ・延面積 197.48m<sup>2</sup>
- ・間取り 下図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図

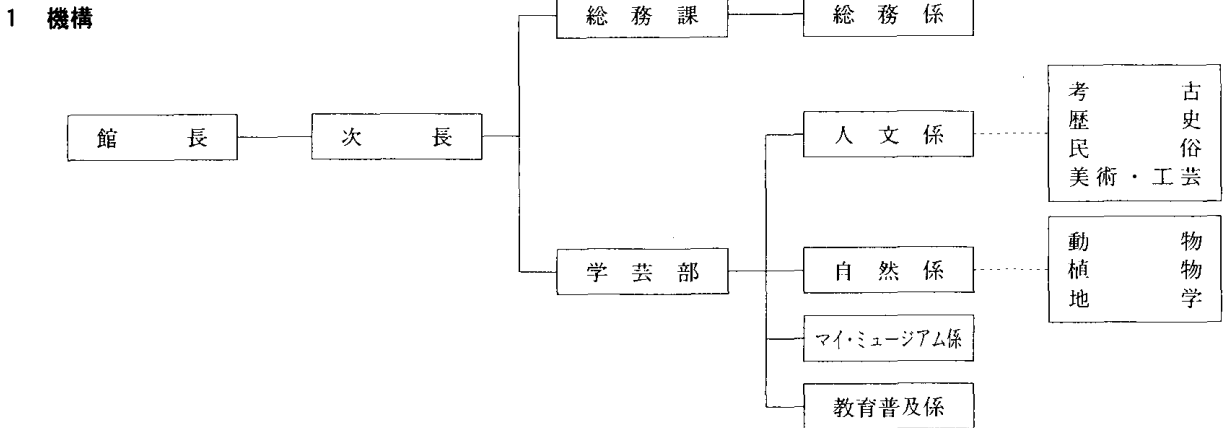


▲ 2階間取り図

## II 平成10年度 組織・運営

平成10年4月現在

### 〔組織〕



### 2 職員

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	高田 晃	業務嘱託員	高橋 紀枝	課長補佐(植物)	井上 好章
次長兼総務課長 〔総務課〕	伊藤 金夫	〃	佐伯 麻里	学芸主事(地学)	安藤 善一
課長補佐兼総務係長	岩田 千恵子	〔学芸部〕	小島 紀美	主事(動物)	説田 健一
主査	小池 裕紀	学芸部長	古川 和明	学芸嘱託員(地学)	安岩 正雄
〃	高橋 昭人	課長補佐兼人文係長 (兼)課長補佐(民俗)	長嶋 俊之	マイミュージアム係長	田井 正義
〃	加藤 祐子	課長補佐(歴史)	曾我 孝司	課長補佐主事	浅井 正美
主事	永田 昌	学芸主事(考古)	松田 千晴	課長補佐兼教育普及係長 (兼)課長補佐	熊崎 康文
業務嘱託員	古野 美保子	主事(美術工芸)	坂口 浩之	学芸嘱託員	今津 裕久
〃	池村 るみ	課長補佐兼自然係長	岩佐 伸次	〃	小倉 克喜
〃	市原 麻利子		鹿野 勘		小山 原三

### 〔事業計画〕

#### 1 展示活動

展示名	期間	主な展示内容
常設展	通年	自然展示室は「郷土の自然とおいたち」と「郷土のさまざまな自然」をテーマに岐阜県の大地ができたようす、郷土の自然とあらまし、ふるさとの動物・植物・岩石を展示。人文展示室は「郷土のあゆみ」と「郷土の民俗と美術工芸」をテーマに郷土の原始時代から現在に至る歴史的な遺産や伝統的美術工芸品等を紹介。
資料紹介展 「岐阜にゾウのいたころ」 - 新生代の地層と化石 -	4/18 ~ 5/24	マンモスの時代よりもはるか昔、今から約1800万年前の岐阜にゾウがいた新生代新第三紀中新世当時の岐阜の様子を、化石や岩石で紹介する。
世界の民俗資料紹介展 「INDIA」 - 人のくらしと神々の世界 -	6/5 ~ 6/28	岐阜県が高山市に建設を進めている「世界民俗文化センター」の資料として、世界各地から集められた木工品を展示する。本年は、インド各地で制作され、人々の信仰世界とくらしの中で使われてきた道具を展示する。
夏季特別展 「つものかぶとむし」	7/14 ~ 9/15	カブトムシは非常によく知られた昆虫だが、その生態には不明点が多い。百年公園で実施したカブトムシの調査結果を紹介し、あわせて世界のカブトムシを含む角を持つ甲虫について総合的に展示紹介する。
秋季特別展 「能面へのいざない」 - 白山山麓から -	9/29 ~ 11/15	岐阜県内の白山山麓の寺社に残る能面に焦点をあて、それと関連の深い全国各地の能面や関連資料もあわせて展示紹介する。
出土遺物速報展 「いにしへの美濃と飛騨」	1/13 ~ 1/31	(財)岐阜県文化財保護センターが最近に発掘調査・研究した、美濃と飛騨の遺跡に関わる資料を展示し、当時の人々の生活やその背景を紹介する。
特別陳列 「ふるさとの文化財紹介展」 - 東濃地区 -	2/21 ~ 3/31	岐阜県下各市町村に所在する国や県指定の文化財をはじめとした優れた文化遺産をシリーズで紹介する。本年度は東濃地区17市町村の文化遺産を紹介する。
マイミュージアムギャラリー		県民の収集・保管してきたコレクションを期間を決めて展示する。(次頁下表参照)

## 2 平成10年度の教育普及事業

事業名	期日	対象	定員	内容
特別展講演会	8/2	一般		角の秘密ージャングルの大きなカブトムシー 昆虫写真家 海野 和男さん 後藤 淑さん
	10/4	一般		福井・岐阜の能面 長滝白山神社氏子のみなさん 能郷能狂言保存会のみなさん
特別展上演会	10/25	一般		
	11/8	一般		
文化講演会	11/3	一般		世界の不思議な植物ーギアナ高地・マダガスカルなどー 進化生物学研究所主任研究員 湯浅 浩史さん
記念講演会	1/17	一般		「クニ」から「郡」へー古代美濃の地域社会ー 岐阜大学教育学部助教授 早川 万年さん
特別講演会	3/14	一般		美を創る 日本工芸会正会員 安藤 日出武さん
博物館講座	4/26	一般		続・古寺を訪ねて-1- 大前 匡昭さん
	5/17	高校生	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 1
	5/31	高校生	8	ハイビジョン番組を作ってみよう 2
	6/7	一般		続・古寺を訪ねて-2- 大前 匡昭さん
	6/14	高校生	8	ハイビジョン番組を作ってみよう-3-
	8/9	一般		歌舞伎ーその創生から現在まで-1- 市川 鐵男さん
	9/13	一般		ついつのかぶとむし
	9/15	一般		歌舞伎ーその創生から現在まで-2- 市川 鐵男さん
	11/15	一般		岐阜県の能面
	11/22	一般		歌舞伎ーその創生から現在まで-3- 市川 鐵男さん
	12/6	一般		道ばたの植物学入門
	1/23	高校生以上	8	ホームページ制作講座 1
	1/24	一般		濃飛の祭祀遺構と遺物
2/6	高校生以上	8	ホームページ制作講座 2	
2/13	高校生以上	8	ホームページ制作講座 3	
3/7	一般		東濃地区の文化財紹介	
3/21	一般		進化するインターネット技術	
自然観察会	5/31	一般	20	植物ウォッチング in 百年公園(春)
	7/28	親子・一般	20	夜のカブトムシを観察しよう 1
	8/4	親子・一般	20	夜のカブトムシを観察しよう 2
	8/23	一般	20	植物ウォッチング in 板取村(夏)
	9/20	一般	20	植物ウォッチング in 春日村(秋)
	9/27	一般	40	石ころが語る大地のおいたち
	1/31	一般	40	百年公園のバードウォッチング 塚原 博良さん 宮川 澄雄さん
たのしい博物館	4/19	一般	40	徳山のくらしを体験しよう
	4/25	一般	30	化石とあそぼう
	5/5	一般		クイズで探検! 博物館
	5/9	一般	30	化石をつくろう
	5/24	小学生	20	カブトムシの絵を描こう
	7/12	一般	30	陶芸教室・茶碗
	7/19	親子	40	竹細工ー竹でおもちゃをつくろうー
	7/25	小学生	40	インターネットで遊ぼうークイズにゲームー
	8/16	一般	40	クイズで探検! 博物館
	8/22	親子	40	たのしいマルチメディアークイズにチャレンジー
	8/30	一般	40	クイズで探検! 博物館
	9/12	小学生以上	40	マルチメディアで探検! 恐竜の世界
	10/10	一般	40	博物館を写生しよう
	10/11	女性	40	インターネットで広げよう趣味の世界
11/1	親子	40	紙で恐竜をつくろう	
11/29	高学年	20	微化石をさぐろう	
12/12	小学生以上	40	マルチメディアで調べる岐阜の魅力	
12/13	一般	40	やっこ風をつくろう	
12/20	一般	40	わら細工「正月の飾りをつくろう」	
3/28	一般	40	クイズで探検! 博物館 石原 文雄さん 大野 仁久さん	
特別行事	4/24	一般	130	風上記フォーラムーマルチメディアで調べる岐阜の魅力ー 静岡大学助教授:合庭 惇さん
	4/29	一般		グリーンアドベンチャー
	5/3	一般		響け! 和太鼓 大垣工業高校太鼓部のみなさん 主催:岐阜県林政部
	7/31	一般	130	岐阜県森林文化大学 1 三橋 規宏さん・篠田 暢之さん 主催:岐阜県林政部
	8/1	一般	130	岐阜県森林文化大学 2 谷本 丈夫さん・篠田 暢之さん 主催:岐阜県林政部
	8/18	小学3年生以上	150	恐竜ゼミナールGIFU'98 in KAMITAKARA ー学ぼう古生代から中生代の化石ー 共催:上宝村 濱田隆士さん, 東洋一さん, ヒサ タニヒコさん
	8/19			
	10/18	親子	120	きのご王国岐阜体験ゼミナール 共催:岐阜県林政部 秋神温泉旅館 小林 繁さん 岐阜市立女子短期大学教授 森 基子さん
	1/6	一般	30	春の七草を観察しよう
	1/7	一般	300	七草がゆを食べよう

## 3 マイミュージアムギャラリー展示(マイミュージアムギャラリーの展示については個人の責任でなされています。)

展示期間	出展者	出展内容
4/5~5/5	松本 五三・森 吉美・和田 昌三	郡上八幡三人展 ー武具・書画・民謡人形ー
5/10~6/14	山田 良司	木彫刻の楽しみ
6/27~8/2	原田 博	びっくり算盤展 ー楽しい絵やおもちゃもいっぱいー
8/9~9/20	関伝 日本刀鍛錬技術保存会<愛刀会・刀匠会・技能会>	美濃・関伝日本刀展
9/27~11/3	相宮 功・加納 みさ	郷土の歴史をかみしめて ー室町から昭和の郷土の文物ー
11/14~12/20	直井 秀幸・浅野 正夫	ニットコレクション ーうねる糸・色を編むー
1/5~2/7	入山 憲和	椿づくし ー椿をモチーフの絵画・陶器・民具などー
2/14~3/22	日本土鈴館/遠山 一男	天神さま土人形展



### Ⅲ 平成9年度のあゆみ

#### 〔職員〕

##### 1 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	高田 晃	〔学芸部〕		学芸主事	岩田 正雄
次長兼総務課長	伊藤 金夫	学芸部長	小林 秀臣	〃	大澤 洋司
〔総務課〕		課長補佐兼人文係長	船坂 正夫	〃	浅井 正美
課長補佐兼総務係長	岩田 千恵子	(兼)課長補佐(民俗)	曾我 孝司	〃	熊崎 康文
主任	古田 光	課長補佐(歴史)	渡邊 育也	学芸嘱託員	田口 方一
〃	高橋 昭人	学芸主事(考古)	坂口 浩之	課長補佐兼教育普及係長	今津 利治
主事	加藤 祐子	主事(美術工芸)	岩佐 伸一	(兼)課長補佐	小倉 裕久
〃	永田 昌	課長補佐兼自然係長	鹿野 勸次	学芸嘱託員	小山 原克朗
業務嘱託員	古野村 美保子	学芸主事(植物)	井上 好章	〃	山田 喜三
〃	須田 寿子	〃(地学)	安藤 善之		
〃	池村 るみ	主事(動物)	説田 健一		
〃	市原 麻利子	学芸嘱託員(地学)	安井 謙介		
〃	高橋 紀枝	課長補佐兼マイ・ミュージアム係長	岩田 幸作		
〃	佐伯 麻里	(併)主査	川崎 邦光		

##### 2 異動

転出	課長補佐兼人文係長	富田 幸八	転入	館長	高田 晃
	課長補佐兼マイ・ミュージアム係	小串 泉		課長補佐兼人文係長	船坂 正夫
	課長補佐	川合 康司		課長補佐	小倉 裕久
	学芸主事	大塚 章		学芸主事	浅井 正美
	〃	三尾 寛次		〃	坂口 浩之
	主任	小寺 弘春		〃	安藤 善之
	主事	酒井 美奈		主任	高橋 昭人
	主事			主事	加藤 祐子
退職	館長	清水 廣美			
	学芸嘱託員	梅澤 貴司	昇任	課長補佐兼マイ・ミュージアム係長	岩田 幸作
	業務嘱託員	亀山 綾子			
	〃	田代 千津子	新任	学芸嘱託員	田口 方一
				〃	安井 謙介
				業務嘱託員	高橋 紀枝
				〃	佐伯 麻里

##### 3 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡 忠良
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克美
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹彦
5	昭和59年	関谷 美智男
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照夫

	在職期間(年度)	氏名
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利光
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀幸
9	平成3年～平成4年	篠田 幸男
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男
11	平成7年～平成8年	清水 廣美

〔日誌抄〕

平成9年度

4. 1 「岐阜県博物館報」第20号発行  
 1 人事異動に伴う辞令交付  
 5 マイミュージアムギャラリー「古代オリエント宝玉展」(~5月5日)  
 12 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 25 特別展「花と鳥のイリュージョンー江戸の学問と芸術ー」開場式(~6月1日)  
 26 自然観察会「ヒトクチャケにいる虫を見よう」  
 27 岐阜県博物館友の会総会  
 29 特別行事「グリーンアドベンチャー大会」  
 5. 3 特別展講演会「花鳥画の流れの中に見る円山派の思想」  
 10 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 10 マイミュージアムギャラリー「自然の造形美ー菊花石・化石・木彫刻ー」(~6月10日)  
 11 特別展講演会「旗本・馬場大助の世界」  
 12 岐阜県博物館協会通常総会  
 24 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座1」  
 25 博物館講座「美術品と自然」  
 29 岐阜県博物館協議会  
 6. 1 博物館講座「古寺を訪ねて1」  
 10 岐阜県恐竜化石学術調査団結団式  
 11 岐阜県博物館協議会委員、岐阜県博物館友の会会長熊田光久氏へ感謝状贈呈  
 12~19 全館くん蒸(臨時休館)  
 19~20 東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部理事会・総会(於:浜松市)  
 28 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座2」  
 29 マイミュージアムギャラリー「四人展ーはく製・屏風・書画ー」(~8月3日)  
 7. 5 資料紹介展「大垣内貝類コレクション」(~8月31日)  
 6 自然観察会「身近な葉草ウォッチングin春日村」  
 12 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 13 陶芸教室「茶碗」  
 18 特別行事「岐阜県森林文化大学」  
 20 博物館講座「古寺を訪ねて2」  
 21 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座3」  
 27 たのしい博物館「竹細工(竹でおもちゃをつくろう)」  
 8. 1 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」  
 2 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座4」  
 3 記念講演会「かたつむりのはなし」  
 4 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」  
 9 特別行事「岐阜県森林文化大学」  
 10 たのしい博物館「体験!インターネット」  
 10 マイミュージアムギャラリー「鉄腕アトムコレクション」(~9月21日)  
 13 自然観察会「郷土の化石ウォッチング」  
 20~21 恐竜ゼミナールGIFU'97 in KAMITAKARA (於:上宝村)  
 23 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座5」  
 29 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」  
 9. 12 特別展「葉草のふるさと伊吹」開場式(~11月9日)  
 13 たのしい博物館「体験!インターネット」  
 14 自然観察会「秋の伊吹山の植物ウォッチング」  
 21 博物館講座「古寺を訪ねて3」  
 23 たのしい博物館「伊吹の葉草染め体験」  
 27 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座6」  
 28 特別展講演会「わたしの見た伊吹の貴重な植物」  
 28 マイミュージアムギャラリー「古鏡と台湾の民具展」(~11月3日)  
 10. 2~3 東海三県博物館協会交流研修会(於:岐阜市)  
 5 たのしい博物館「徳山のくらしを体験しよう」  
 11 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 12 自然観察会「モリモリ葉草体験in春日村」  
 14 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会  
 18 博物館サポーター研修  
 19 特別行事「きのこ王国岐阜体験ゼミナール」  
 19 博物館講座「きのこの講話」  
 25 博物館講座「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座7」  
 26 特別展講演会「伊吹山葉草の研究史」  
 11. 2 博物館講座「岐阜県の明治維新一活躍した人物を中心として」  
 3 特別行事「百年公園・博物館を写生しよう」  
 5~6 全国博物館大会(於:広島市)  
 5 棚橋賞受賞:前課長補佐兼マイ・ミュージアム係長小串泉氏(財団法人日本博物館協会表彰)  
 8 たのしい博物館「体験!インターネット」  
 8 入館者180万人を突破  
 9 文化講演会「京都の仏像と奈良の仏像」  
 11. 11 マイミュージアムギャラリー「城下町八幡町の起源と八幡神社の宝物」(~12月21日)  
 15 資料紹介展「世界の民俗資料紹介展ーくらしの中の木の文化ー」(~12月23日)  
 22 たのしい博物館「紙で恐竜をつくろう」  
 23 たのしい博物館「伊吹の葉草料理体験in春日村」  
 24 博物館講座「岐阜県の能面」  
 27 熊田文庫開設  
 29 博物館同人・サポーター研修(於:滋賀県立琵琶湖博物館)  
 30 博物館講座「古寺を訪ねて4」  
 12. 7 講演会「くらしの中の木の文化ーインドを中心にー」  
 13 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 14 たのしい博物館「連風作りに挑戦しよう」  
 21 たのしい博物館「わら細工(正月の飾りをつくろう)」  
 1. 6 マイミュージアムギャラリー「和風展」(~2月11日)  
 6 特別行事「七草の採取」  
 7 特別行事「七草がゆを食べよう」  
 10 たのしい博物館「体験!インターネット」  
 11 自然観察会「百年公園のハードウォッチング」  
 14 (財)県文化財保護センター速報展「土に刻まれた古代・中世ー米づくり・モノづくりからー」(~2月1日)  
 18 記念講演会「最近の県内発掘事情にみる地域のすがた」  
 24 博物館講座「インターネット・ホームページ制作講座1」  
 25 博物館講座「古寺を訪ねて5」  
 31 博物館サポーター研修  
 2. 1 博物館講座「美濃・飛騨の古代遺跡」  
 14 たのしい博物館「体験!マルチメディア」  
 17 マイミュージアムギャラリー「自然の情景写真展」(~3月22日)  
 21 特別陳列「ふるさとの文化財紹介展ー可茂地区ー」(~3月31日)  
 28 博物館講座「インターネット・ホームページ制作講座2」  
 3. 8 博物館講座「可茂地区の文化財紹介」  
 9 岐阜県博物館協会常任理事会  
 14 たのしい博物館「体験!インターネット」  
 21 博物館講座「インターネット・ホームページ制作講座3」  
 22 博物館講座「古寺を訪ねて6」  
 28 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」

〔博物館協議会〕

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例(昭和51年)第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	勤務先	現職名
宇野 浩	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県高等学校長協会副会長
小瀬 洋喜	大垣女子短期大学	大垣女子短期大学学長
片桐 武司	学校法人岐阜済美学園	岐阜県私立中学高等学校協会会長
熊田 光久 (9年6月11日まで)	岐阜県博物館友の会	岐阜県博物館友の会会長
○坂倉 又吉	千代菊(株)	千代菊(株)取締役会長
篠田 薫	かぐや第一幼稚園	学校法人 篠田学園 かぐや第一幼稚園園長
嶋崎 藤雄	岐阜市方県公民館	岐阜県公民館連合会会長
◎土屋 齊	(株)大垣共立銀行	(株)大垣共立銀行取締役名誉会長
野村 令子	美山町立西武芸小学校	岐阜県小学校長会
溝脇 昭人	名古屋テレビ放送(株)岐阜支局	名古屋テレビ放送(株)報道部
山田 弘子	白川町立黒川中学校	岐阜県中学校長会
和田 吉弘	中部女子短期大学	中部女子短期大学副学長

〈開催状況〉

月日 平成9年5月29日  
 場所 岐阜県博物館 第一会議室  
 議事 ・今、岐阜県博物館に求められているものー特色ある博物館にするためにー  
 ・その他

◎会長 ○会長代理 平成10年3月31日現在(五十音別)  
 ただし、任期は平成8年6月21日~平成10年6月20日

## 【実施事業の概要】

平成5年度から制作してきたマルチメディアソフト「ハイパーハイビジョン風土記『ひだ・みの紀行』」が、平成9年度に飛騨街道編、郡上街道編を作成し、これまでの美濃路編、中山道編と合わせて、全編が完成した。

これは、県内全域の自然、民俗、産業、歴史などの事象を紹介するもので、見たい事象を自由に検索、閲覧できる世界初のハイビジョンマルチメディアソフトとして注目されている。

検索事象項目数		564事象
映像登録数	ハイビジョン動画	56本
	ハイビジョン静止画	118本
	N T S C 動画	171本
写真資料数		1430点
対象市町村		99

また、本年度7月にソフトピアジャパン等のプロバイダーを経て、インターネットによる情報発信を開始した。

情報提供の内容は、博物館の概要、利用案内（交通アクセス、料金等）、催しもの案内（特別展等の各月のメニュー）、常設展示紹介（フロアごとの展示内容、展示解説）、所蔵案内、風土情報、県内の他博物館等の紹介などである。

### 1 調査研究活動

人文関係では、岐阜県内の白山山麓の寺社に残る能面

と、それに関連の深い全国各地の能面や関連資料について調査研究した。

自然関係では、岐阜にゾウがいたという新生代新第三紀中新世を中心に、地層に眠る化石、岩石の調査研究を行った。また、百年公園で岐阜大学とともに、繁殖生態等カブトムシの行動について調査研究した。

### 2 展示活動

下の表に示すように、特別展2回、資料紹介展2回、特別陳列1回、マイミュージアムギャラリー展8回を行ったほか、(財)岐阜県文化財保護センター速報展が開催された。

### 3 資料収集活動

人文関係では、美濃・飛騨両地域の近世、近代史を中心に資料の収集を行い、自然関係では、中濃を中心とした平野部、濃尾平野の植物について資料の収集に努めた。

### 4 教育普及活動

「たのしい博物館」(20回)等年間59回(60日)の講座、観察会等を開催した。「体験!マルチメディア」の講座で、対象は幼児から大人まで多くの参加者を得て、ハイビジョン映像を通し、マルチメディアの世界を体験してもらった。また、マルチメディア工房では、高校生グループがハイテク技術を駆使して、熱心に番組制作に挑戦した。4年目を迎えた特別行事「きのこ王国岐阜体験ゼミナール」、6年目を迎えた「七草がゆを食べよう」また「百年公園、博物館を写生しよう」は多くの参加者があり、好評を博した。

なお、本年度入館者は、55,757人であった。

展示名	期間	展示内容	入館者数
常設展	年間	人文展示室Ⅱの円空のコーナーを中心に、随時、能面、刀剣、陶器等のコーナーの展示替えをした。	—
特別展 「花と鳥のイリュージョン」	4/25～6/1	「花鳥」に代表される自然を基盤にして、近世画壇に大きな影響を及ぼした円山応挙ら芸術家から見た自然と、瑞浪の旗本・馬場大助らアマチュア学者らの見方を岐阜県にゆかりのある作品を中心に紹介した。	10,600
特別展 「葉草のふるさと伊吹」	9/13～11/9	伊吹山系は、気象や地質的にも特徴があり、その伊吹山に生育する特徴的な植物や亜高山性の植物も多く見られ、葉草の宝庫としても歴史的に著名である。伊吹の厳しい自然環境がはぐくんだ生物、気象衛星がとらえた伊吹フィールドなど特徴のある伊吹の自然を、葉草を中心にして総合的に紹介した。	16,121
資料紹介展 「大垣内貝類コレクション」	7/5～8/31	岐阜県を中心に陸産貝類の研究を続けてきた大垣内宏氏が、博物館に寄贈された貝類標本約1万点の中から、ヌノピキマイマイなど学術上貴重な新種の貝等、氏と関わりの深いものを中心に紹介した。	11,101
世界の民俗資料紹介展 「くらしの中の木の文化」	11/15～12/23	インド、アフリカ、オーストラリアの3地域の木製品から、動物をモチーフにした作品約60点を紹介した。県が高山市に建設を予定している「世界民俗文化センター」の開館に先立って紹介した。	3,165
特別陳列 「ふるさとの文化財紹介展 ～可茂地区～	2/21～3/31	県内の文化財をシリーズで紹介する企画展の4年目であり、可茂地区11市町村の特色ある文化財を調査研究し、その成果を98点の資料で紹介した。	5,212
マイミュージアムギャラリー	H9 4/5～ H10 3/22	古代オリエント宝玉(4/5～5/5)、自然の造形美(5/10～6/10)、四人展(6/29～8/3)、鉄腕アトムコレクション(8/10～9/21)、古鏡と台湾の民具展(9/28～11/3)、城下町八幡町の起源と八幡神社の宝物(11/11～12/21)、和風展(H10、1/6～2/11)、自然の情景写真展(2/17～3/22)	—

## 〔展示の入れ替え〕

### 人文展示室 2

本年度は、春季特別展「花と鳥のイリュージョン 江戸の学問と芸術」を当展示室で開催したのを機会に、室内のイメージ替えおよび随時作品の展示替えを行った。

#### (1) 仏教美術部門

本部門では、当館及び県内の寺院などに所蔵されている、歴史的・美術的に価値の高い仏像・仏画など仏教に関わる作品（レプリカを含む）を展示した。

本地地藏菩薩画像	室町時代	当館蔵
小島荒神画像	室町時代	当館蔵
三島良順写 妙法蓮華経	現代	当館蔵 ほか



本地地藏菩薩画像 当館蔵

#### (2) 陶芸部門

本部門は、多治見工業高等学校所蔵の織部を中心に、岐阜市の金華山焼、近隣の犬山焼などを展示した。

織部草花文平茶碗	桃山時代	当館蔵
美濃伊賀水指	桃山時代	当館蔵
織部梅文四方鉢	桃山時代	多治見工業高校蔵



織部四方平鉢 当館蔵

#### (3) 書画部門

本部門では、地元縁の深い画家、書家、文人の作品をはじめ、日本美術史に名を残す人々の作品を江戸時代のものを中心にテーマを設定して展示した。

〈旗本・馬場大助の世界〉

馬場大助	羅漢図袈裟	江戸時代	天猷寺蔵
馬場大助	花卉図	江戸時代	光春院蔵 ほか

〈美濃の女流画家〉

江馬細香	養老瀑布図	江戸時代	個人蔵
梁川紅蘭	墨梅図	江戸時代	個人蔵 ほか

#### (4) 刀剣部門

本部門では、美濃の刀剣を中心に展示した。

年間を通じて、太刀や打刀、短刀、槍など各種の刀剣類、あわせて太刀拵、槍拵、長刀拵等も展示した。また、広く刀剣に関する知識・関心を持てるように刀の製作工程も展示した。

#### (5) 金工部門

当館には、鐔や小柄をはじめとする刀装具類や古鏡が多く寄託されている。それらのうち、美術的・歴史的に価値のある作品を中心に展示した。

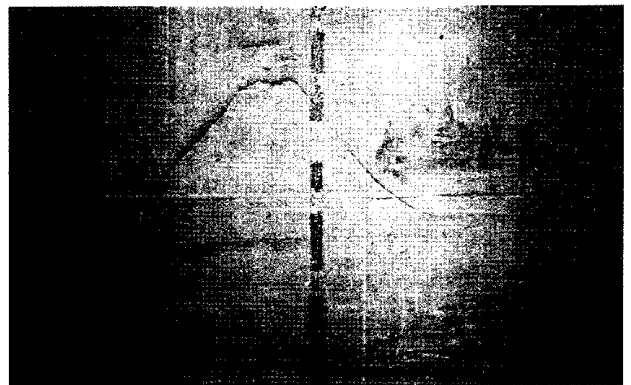
鶴丸文鉄鐔	無銘	江戸時代
柳下小野道風に蛙金象嵌鐔	無銘	江戸時代
老松図毛彫銅鐔	銘 乗意	江戸時代 ほか

#### (6) 円空部門・小企画部門

岐阜県が誇る芸術家・円空の業績を展示した本部門では、彼の遺した仏像（レプリカ）をはじめ、書画および彼を取り扱った歴史資料を展示した。

また、本年度前半においては「小企画部門」とし、「近世崎人伝と美濃の人々」と銘打って、江戸時代後期のベストセラー『近世崎人伝』に現れた美濃の人々を紹介し、あわせて彼らの資料を展示した。

伴蒿溪	「近世崎人伝」(正・続)	江戸時代
円空	「富士山図」	江戸時代
永田佐吉	「宝珠図自画賛」	江戸時代 ほか



円空 「富士山図」 (藤川靖司氏寄贈・当館蔵)

## 平成9年度春季特別展

### 1 展示会名称

「花と鳥のイリュージョン ～江戸の学問と芸術～」

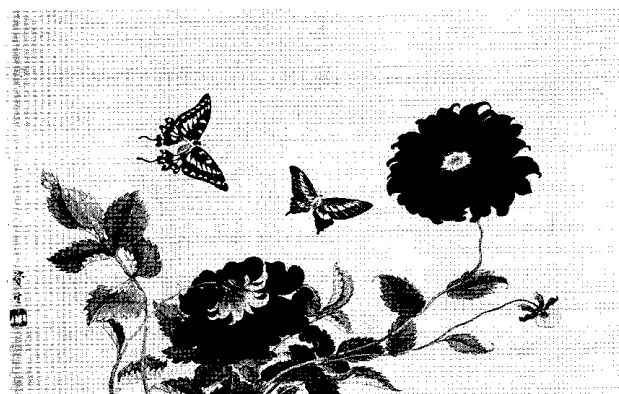
### 2 開催期間

4月25日（金）～6月1日（日）

### 3 趣旨

古来より、日本の美術においては様々な自然の景物が取り上げられてきた。それらの題材は絵画をはじめ多くの美術品に利用されてきたが、近世後期になってその様相に変化が出てきた。それは「自然」を文様・意匠として捉えるのではなく「学問」の対象として、多くの人々が科学的な視点から研究をはじめたことにある。

本展覧会では、写生を基盤にした絵画を創出し、近世絵画に大きなインパクトを与えた円山応挙や岸駒ら絵師側から見た自然の表現方法と、現在の瑞浪市に領地を持っていた旗本・馬場大助らアマチュア学者らの自然研究の様相を同時に展示することにより、江戸時代の人々の自然へのまなざしを多角的に再現することを目的とした。



馬場大助 「花卉図」 瑞浪・光春院蔵

### 4 展示内容

本展では、大きく4つのコーナーに分け、絵師やアマチュア学者など、立場の違いによって自然の見方や表現が大きく変わることを、比較できるような構成にした。

#### (1) 円山応挙と美濃

江戸時代後期以前の絵画界においては、粉本（絵手本）による絵画の制作が盛んであり、実際に写生したものをそのまま完成作品に活かすことは少なかった。

そのような中であって、円山応挙は写生を盛んに行い、実際の作品にもその技術を活かした。これが全国的な人気を得、美濃にも彼の描いた襖絵が、戦前まで伝わっていた。

〈主な展示品〉

円山応挙 竹雀図襖 京都・東本願寺蔵

#### (2) 岸派と美濃

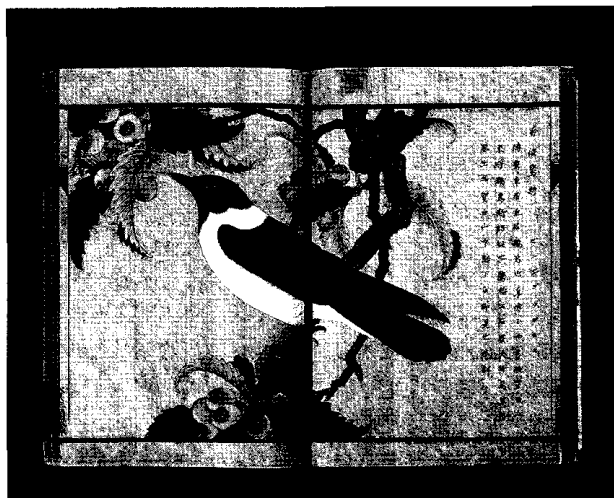
円山応挙亡き後の京都画壇で一大勢力を築いたのが、岸派と呼ばれる一派であった。彼らは、応挙とは違い、中国風の写生を基盤にして人気を得た。

美濃からも喜田華堂（関ヶ原出身）や三尾暁峰（付知出身）が入門し、郷里に戻って岸派の作風を広めている。

〈主な展示品〉

三尾暁峰 孔雀図 岐阜・個人蔵

#### (3) 馬場大助と緒鞭会



馬場大助 『詩経物産図譜』より

江戸時代後期になると、科学的な視点から自然の物を見ようとする動きが各地で起こった。

瑞浪市に領地を持っていた、旗本の馬場大助もそのひとり。彼の残した図鑑と、彼の属していた大名の自然科学研究サークル・緒鞭会メンバーの作品を紹介した。

〈主な展示品〉

馬場大助 遠西舶上画譜 東京・東京国立博物館

#### (4) 伝統工芸と花鳥

本コーナーでは、江戸時代から伝わる伝統工芸・郡上染に見られる花鳥をモチーフとした作品を展示した。

〈主な展示品〉

渡辺庄吉 束髪斗文壁掛 本館蔵

#### 〈関連事業〉

- ・ 5月3日（祝） 特別展講演会  
「花鳥画の流れの中に見る円山派の思想」  
京都大学教授・佐々木丞平氏
- ・ 5月11日（日） 特別展講演会  
「旗本・馬場大助の世界」  
東京国立博物館・佐々木利和氏
- ・ 5月25日（日） 博物館講座  
本館学芸員・岩佐伸一
- ・ 図録作成
- ・ 岐阜県華道連盟による生け花展示

## 平成9年度秋季特別展

### 1 展示会名称

「薬草のふるさと伊吹」

### 2 開催期間

平成9年9月13日(土)～11月9日(日)

### 3 趣旨

伊吹山系は本県の西端の南北に連なっている高さ1000～1300m余りの山並みであり、伊吹山はその南端に位置し、最高峰の1377mである。

冬期は、日本海から吹きぬける寒冷な季節風が影響し、積雪量が多い地域である。地質は、古生代(約3億年前)に形成され、石灰岩層で構成されている。

このような気象や地質から伊吹山のみには生育する特徴的な植物(特産種)が多くなっていて、石灰岩を好む植物や亜高山性の植物も多く見られる。

特徴のある地質や気候条件を生かして織田信長が、薬草園をこの地につくらせたことも有名で、現在でも、薬草の宝庫として知られている。

このような特徴のある伊吹の自然を薬草を中心にして総合的に展示し、県民の方々に広く紹介したいと考えて開催した。

### 4 展示内容

展示内容を5つのコーナーに分け、伊吹の植物、中でも薬草を中心にして、伊吹の動物や、岩石まで含め合計360点を総合的に展示した。

#### (1) 伊吹フィールドの空中散歩

ランドサットの写真や植生図を8点展示し、伊吹山系を中心に、地形や伊吹山の位置などが空中から眺めて分かるように工夫し展示した。

#### (2) 伊吹の植物の世界をのぞく

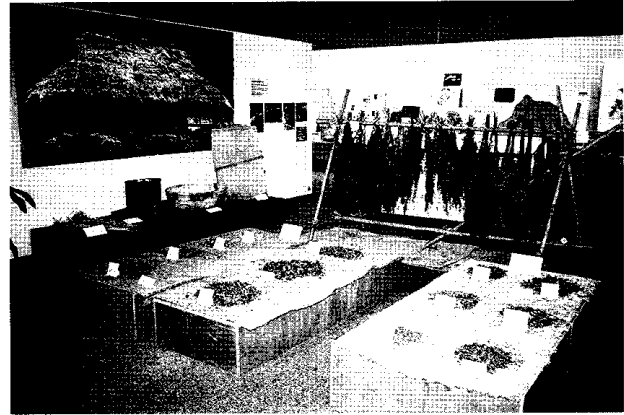
伊吹山の岐阜県側を、山頂～北尾根、中腹、麓というように場所ごとに分けて展示した。植物が個体維持や種族保存のために、それぞれの環境に適応していることなどを9点のレプリカ、86点の植物標本、17点の大型標本などで具体的に紹介した。



伊吹山のお花畑レプリカ

#### (3) 伊吹の薬草とそのルーツをたずねて

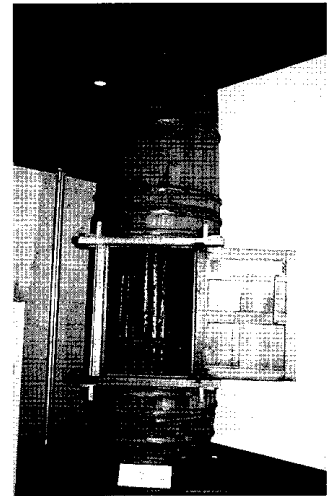
生薬とともに伊吹山系を代表する薬草、128点を展示した。また、実際に薬草に触れたりにおいを嗅いだりできるコーナーも設置した。



薬草を体感するコーナー

また、伊吹の植物研究の歴史を年代ごとに文献や実物資料をそろえて展示紹介した。たとえば文献では、飯沼慾斎の草木図説、標本資料では、牧野富太郎氏の植物標本である。

江馬蘭齋考案の  
薬草風呂  
(内藤記念くすり 博物館蔵)



#### (4) 伊吹にひそむ特徴的な動物たち

ミカドギセルなどの石灰岩を好む貝など、伊吹を特徴づける動物標本を22点紹介した。

#### (5) 伊吹の特徴ある地質や気象、化石

伊吹で見つかったサンゴやウミユリ、フズリナなどの化石や、金生山で見つかった化石を中心に紹介した。

#### 〈関連事業〉

- 自然観察会 3回 7/6, 9/14, 10/12
- たのしい博物館 2回 9/23, 11/23
- 特別展講演会 9/28 講師 井波一雄氏  
(井波植物研究所所長)
- 10/26 講師 水野瑞夫氏  
(岐阜薬科大学名誉教授)

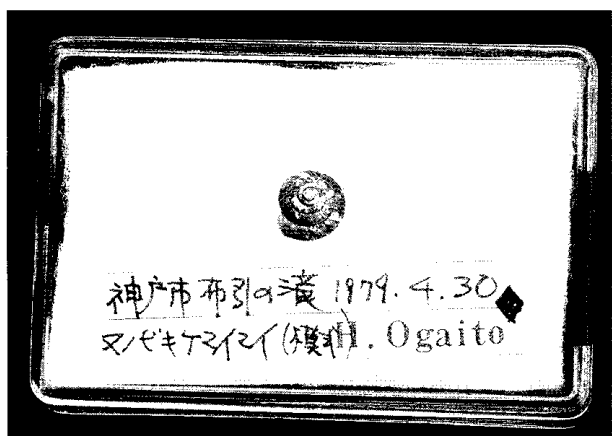
## 〔資料紹介展〕

### 大垣内貝類コレクション

平成9年7月5日(土)～8月31日(日)

岐阜県博物館では、長年にわたり、岐阜県を中心に貝類の研究をしてきた西宮市在住の大垣内宏氏から、貝類標本約1万点の寄贈を受けた。大垣内氏は阪神大震災で被災したが、被害を免れた標本の中には、学術上貴重なものが多数含まれている。特に、ヌノビケマイマイやハズレミジンヤマトニシなどの模式標本はきわめて重要である。

本展覧会では、膨大なコレクションの中から、大垣内氏が発見した新種の貝など、氏と関わりの深いものを中心に展示紹介した。



ヌノビケマイマイ

#### (1) 海の貝

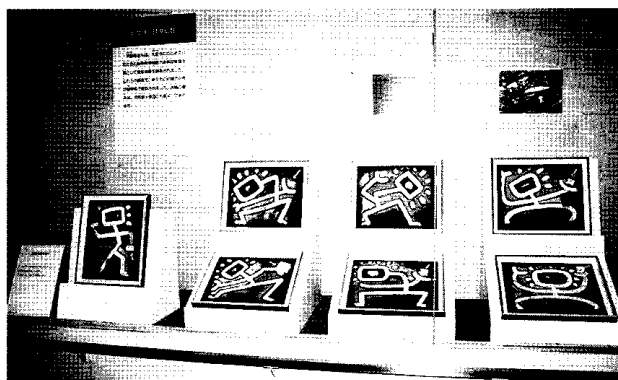
大垣内氏が貝に興味を持ったのは、高校生のときであった。このコーナーでは、当時、氏が、鳥羽市菅島や紀伊長島で採集した標本を展示した。この他に海底の土砂から採集した小さな貝もたくさんある。大垣内氏が、サンドポンプで海底から吸い上げられた土砂をふるいにかけて集めたものも紹介した。



展示風景(1)

#### (2) 岐阜県の陸産貝類

大垣内氏は、大垣市に在住していたときに岐阜県博物館の資料収集協力員として陸産貝類(マイマイやキセルガイの仲間)を調査した。これらの調査で、大垣内氏によってあらたに分布が岐阜県で確認されたものを展示した。



展示風景(2)

#### (3) 絶滅のおそれのある陸産貝類

コレクションには、環境庁が「日本の絶滅のおそれのある野生生物」に選定したものが数多く含まれている。このコーナーでは、大垣内氏が自ら採集したり、全国の貝類研究者と交換して集めたものを展示した。



展示風景(3)

#### (4) さわってみよう

実際に貝殻を手に取り、間近で観察できるよう海の貝やカタツムリ類の標本を展示した。

また、コウバマイマイなど陸産貝類の生態展示も行った。

#### 〈関連事業〉

記念講演会 8月3日(日)

「かたつむりのはなし」大垣内宏氏 宮崎 惇氏

講演会の聴講者には、大垣内宏氏が執筆した築地書館発行の「カタツムリの生活」が配布され、カタツムリの生態について、スライドを使いながら、わかりやすく解説された。

## 世界の民俗資料紹介展

### 1 展示会名称

「くらしの中の木の文化」

### 2 開催期間

11月15日（土）～12月23日（祝）

### 3 趣旨

現在、岐阜県は「世界民俗文化首都」構想に基づき、高山市に「世界民俗文化センター」を整備しつつあり、そのために収集された作品を、開館に先だって県民に公開しようとする展示である。

高山市を中心とする飛騨地域は、「飛騨の匠」をはじめ日本でも有数の木の文化を誇ってきた。このような地に整備されつつある、世界民俗文化センターが、世界中の民族が作り出した「木」に関わる作品を収集し、展示することは、世界における飛騨地域の文化価値を認識し、高めることに意義ある事業である。

本展示では、収集品の中から、アフリカ・インド・オーストラリアの人々が、その暮らしの中で作り出した木製品を展示、紹介した。

### 4 展示内容

#### (1) インドのくらしと木製品

ヒンズー教は、インドの人々にとって単なる一宗教に留まらない存在である。くらし全てにわたる生き方の基本であるだけでなく、社会的なルールも宗教の上になり立っている。

その様な彼らが作り出した、ヒンズー教を讃えるレリーフをはじめとする作品を展示した。



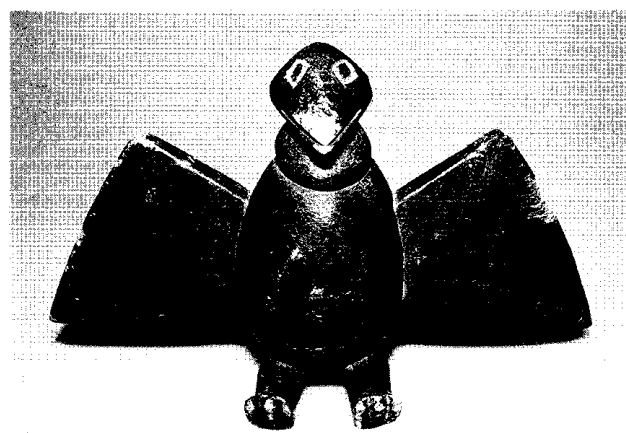
インド南部 獅子

#### (2) アフリカの祭りとくらし

西アフリカ内陸からギニア湾岸、中央アフリカに至る赤道に近いアフリカの地域は、優れた造形を誇る仮面の宝庫として知られる。

その地域に見られる仮面は、部族の祖先や精霊を表すとされ、葬儀や農耕儀礼、成人式などの非日常的場面において使われた。

本コーナーでは、そのような仮面や占いに使われた道具など、信仰と儀式に関わる道具類を展示した。



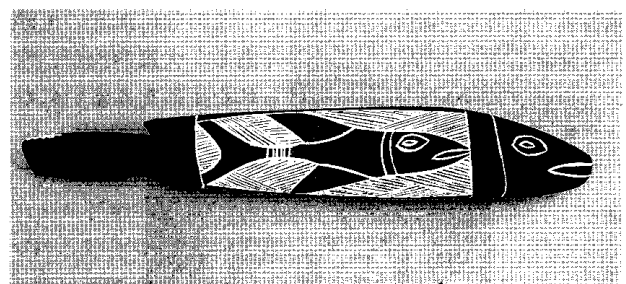
コートジボアール セヌフォ族 鳥

#### (3) オーストラリアのくらしから1（アーネムランド）

#### (4) オーストラリアのくらしから2（中央砂漠地域）

オーストラリア大陸の最初の住人は、アボリジニと呼ばれる先住民であった。彼らは長年の間、狩猟採集の生活を続け、独自の文化を築き上げた。

文字を持たない彼らは、部族の神話や祖先を絵画や彫刻の形で伝承してきた。それらをモチーフにしたさまざまな木製品を展示した。



オーストラリア・アーネムランド アボリジニ「魚」

#### 〈関連事業〉

・12月7日（日）講演会

「くらしの中の木の文化ーインドを中心にー」

（財）野外民族博物館リトルワールド主任研究員

高橋 貴氏

・リーフレットの作成



## 〔特別陳列〕

### ふるさとの文化財紹介展 ー可茂地区ー

平成10年2月21日(土)～3月31日(火)

東西の文化が交流する岐阜県には、歴史的にも文化的にも優れた文化遺産が数多く残されている。こうした誇るべき“ふるさとの文化財”を広く紹介することによって、地域の歴史や文化に対する認識を新たにするとともに、郷土の文化遺産の保存と掘り起こしの一助となるように企画されたのが、この特別陳列である。

1年目の西濃地区、2年目の岐阜地区、3年目の美濃地区に続く今年度は、『甦る可茂』と題して、可茂地区11市町村の文化財を紹介した。資料所蔵者や各市町村教育委員会など関係各位の多大な協力をいただき、木曾・飛騨川の中流域の豊かな自然を背景として成立した可茂地区の地域色に富む文化財を一堂に展示することができた。展示資料は、考古・歴史資料から書画・美術工芸品、民俗資料にいたるまで多彩なものとなった。

### 〈展示構成〉

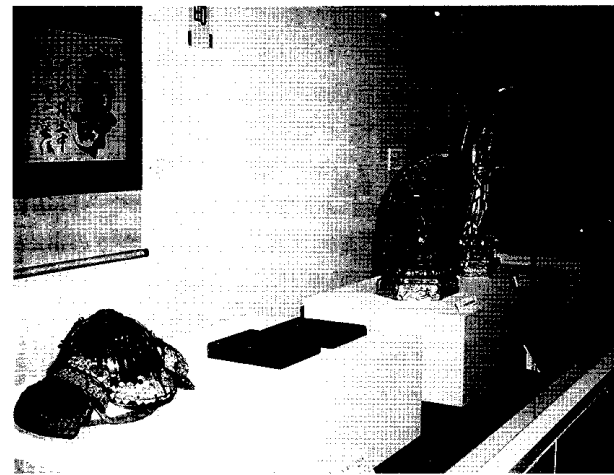
展示は、各市町村別のコーナーと可茂地区共通コーナーの2つに分けて構成をした。

#### (1) 各市町村別コーナー

- ①美濃加茂市 ②坂祝町 ③富加町 ④川辺町
- ⑤七宗町 ⑥八百津町 ⑦白川町 ⑧東白川村
- ⑨可児市 ⑩御嵩町 ⑪兼山町

#### (2) 可茂地区共通コーナー

- ①円空仏 ②中山道 ③生活絵巻



ふるさとの文化財紹介展の展示風景

### 〈主な展示内容〉

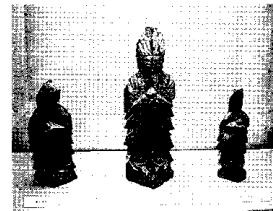
各市町村ごとに展示のテーマを設定し、それに関わる資料を収集・展示した。そのため、地域の特徴がよく表れ、意図的でわかりやすい展示になったと考える。

- ①美濃加茂市…甦る！江戸時代の美濃加茂
- ②坂祝町…甦る！寺社に残された宝物の数々

- ③富加町…甦る！半布里戸籍と半布里の武家社会
- ④川辺町…甦る！太部古天神社の宝物と旗本大嶋家
- ⑤七宗町…甦る！龍門寺の文化と葉津文楽
- ⑥八百津町…甦る！名利に残された秘宝
- ⑦白川町…甦る！漫俳・岡本一平の世界
- ⑧東白川村…甦る！廃仏毀釈と村の文化
- ⑨可児市…甦る！美濃の焼き物の歴史と文化
- ⑩御嵩町…甦る！隠れキリシタンの信仰
- ⑪兼山町…甦る！戦国武将森氏の繁栄と文化

### ○円空仏・慈愛の世界

江戸時代初期に美濃国に生まれた円空上人は、生涯に12万体の仏像を造ったといわれる。可茂地区の円空仏は、存在することは知られていても、あまり注目されず一堂に会することもなかった。そこで、可茂地区6市町の優れた円空仏を紹介した。



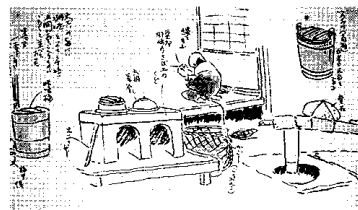
### ○中山道の宿場風情

可茂地区の一つの特徴は、中山道が通っていたことにある。宿場も御嶽宿・伏見宿・太田宿の3ヶ所あり、中山道文化が栄えていた地域ともいえる。安藤広重の錦絵を中心として中山道関係資料を展示した。



### ○明治・大正期の生活絵巻

時代と共に忘れ去られていく明治・大正の庶民の風俗や文化を絵巻で紹介した。この絵巻は、美濃加茂市出身の高橋余一氏が記録描写したもので、場面場面に解説を加えながら詳しく記されている。



### 〈展示資料数等〉

76件(資料総点数93)

県指定文化財8件、市町村指定文化財21件

また、写真入りの解説リーフレット(A4判・16ページ)を作成した。

## 〔マイミュージアムギャラリー〕

### (1) 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションを募集し、一定期間、公開展示をする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会を通じて承認された展示計画に従って、順次展示を行う。出展者の募集は常時行っている。

### (2) 平成9年度の展示状況

回	展示期間	出展者	出展内容
1	平成8年 4月5日(土) 5月5日(日)	伊藤 彰 <small>あきら</small>	古代オリエント 宝玉展
2	5月10日(土) 6月10日(火)	児玉 輝彦 <small>かみむら</small> 上村 末子 <small>かみむら</small> 真田 隆明 <small>まんだ</small>	自然の造形美 〈菊花石〉 〈化石〉 〈木彫刻〉
3	6月29日(日) 8月3日(日)	長谷 虎治 <small>とら</small> 松本 好夫 <small>よしと</small> 安江 一栄 <small>かずよし</small> 平田 重彦 <small>しげひこ</small>	四人展 〈はく製〉 〈屏風〉 〈彫型画〉 〈系図〉
4	8月10日(日) 9月21日(日)	加納 八郎 <small>やちろう</small>	鉄腕アトム コレクション
5	9月28日(日) 11月3日(祝)	梶山 周平 <small>しゅうへい</small> 後藤 勇 <small>ゆう</small>	古鏡と 台湾の民具展
6	11月11日(火) 12月21日(月)	小野八幡神社 前田 博 <small>ひろ</small>	城下町八幡町の起源と 八幡神社の宝物
7	平成9年 1月6日(火) 2月11日(祝)	小川 義明 <small>よしみ</small>	和風展 〈武者絵・浮世絵 の手作り風〉
8	2月17日(火) 3月22日(日)	ARI写真 同好会 代表 亀井清人 <small>きよひと</small>	自然の情景写真展

### (3) 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示リーフレット「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。平成9年度は7年度からの通番で、第15号から第22号まで発行した。

### (4) 出展者による解説・講演・実演等の開催

来館者に対して、出展者による展示解説、講演、実演、教室を以下のように開催した。

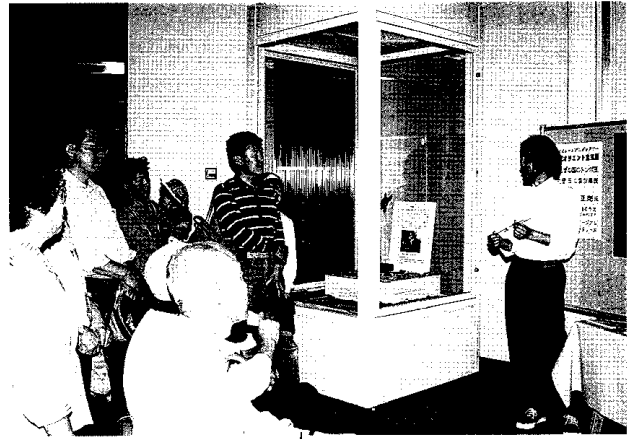
○第1回「古代オリエント宝玉展」

解説 ふしぎの国のトンボ玉 西尾正剛さん

期日 平成9年5月5日

場所 マイミュージアムギャラリー内

出展者の伊藤さんと共に、ご自身でもトンボ玉を製作されている恵那市在住の西尾さんが現代のトンボ玉を出展された。合わせてトンボ玉の製作過程を解説された。珍しく不思議なトンボ玉の魅力に来館者は見入っていた。



○第4回「鉄腕アトムコレクション」

ハイビジョン映画上映会「鉄腕アトム」

期日 平成9年7月20日～8月31日／1日2回

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

内容 「宇宙空港R45」「ウランちゃんとウランちゃん」  
ギャラリーの展示に合わせ、夏休み期間中に限定し、鉄腕アトムのハイビジョンアニメ映画の上映を行った。夏休みということもあり、家族連れが多く盛会であった。

○第5回「古鏡と台湾の民具展」後藤 勇 夫妻

談話会 「我が家と2個のつぼ」

期日 平成9年10月12日

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

「台湾の民具」を出展の後藤勇さん夫妻による談話会を開催した。後藤さんのお祖父様の代からゆかりのある、台湾の現地の方々との交流を話された。余り知られてない台湾の素顔に触れ、有意義な国際理解の時間となった。



○第7回「和風展」小川 義明さん

実演 手作り凧の武者絵・浮世絵描き

期日 平成10年1月6日～11日・27日～31日

午前10時30分～午後4時までの11日間

場所 マイミュージアムギャラリー会場内 特設舞台

凧は自分で作ってあげてこそおもしろい。凧あげの醍醐味を一人でも多くのお客さんに知ってもらいたいと、長期間、長時間の実演開催であった。自ら持参の凧糸や手作り凧を来館者にプレゼントするなど、来館者には好評であった。



○第8回「自然の情景写真展」ARI写真同好会

写真教室 撮影会・鑑賞会

期日 撮影会：平成10年2月22日 午前10時～12時

鑑賞会：平成10年3月1日 午後1時～3時

場所 マイミュージアムギャラリー会場及び、博物館周辺の百年公園(鑑賞会はハイビジョンホール)

ARI写真同好会の皆さんが、これまで培った撮影技術を一般のアマチュアの来館者に伝えつつ、学び合いたいと写真教室を開催した。撮影会では女性モデルや自然の情景の撮影会を行い、1週間後にその鑑賞会を行った。同好会の方々は、参加者に丁寧に適切なアドバイスをするなど、終始和やかな教室であった。



(5) 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、14名に同人証を発行した。また、同人として以下の方から資料の寄贈を受けた。

・小川義明氏 「手作りの六角凧」1点

(6) 平成9年度の出展申し込み

岐阜県出身の挿絵画家等の作品、山頭火の句碑拓本、バードカービング、刀装具・書画、刀剣、海外日本人学校帰国教師の会の海外コレクション、黄瀬戸のコレクション、クラシックカー等のコレクション、江戸～大正・昭和の文庫本など、計9件の申し込みが合った。内2件は県外からの申し込みであった。

(7) マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○期日 10月14日 ○場所 本館会議室

○議題

①これまでの展示の経過と課題について

- ・バラエティに富んだ内容で、老若男女を問わず楽しめる。また、リピーターが増えてきている。
- ・出展者による実演、講演、展示解説が実施できた。
- ・展示準備、撤収はスムーズに対応できている。
- ・効果的な案内や広報がなされ、毎回のように新聞報道があった。

②平成10年度展示計画について

- ・内容に楽しさが出て、バランスがとれている。
- ・広報、PRを効果的に行うことが大切だ。
- ・生涯学習の成果作品の展示が増えることを願う。

○委員の構成(平成9年度)

	氏名	役職
委員	浅野 勇	岐阜県市長会長
〃	糸魚川淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 仲雄	会社会長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域婦人会連合会会長
〃	嶋崎 藤雄	岐阜県公民館連合会長
〃	中井 勉	岐阜県町村会長
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	船戸 政一	関市教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会理事長
〃	安田 謙三	岐阜県議会文教警察委員長
〃	清水 廣美	前岐阜県博物館長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が継続就任。

## 〔文化財保護センター速報展〕

土に刻まれた古代・中世～米づくり・モノづくりから～  
平成10年1月14日（水）～2月1日（日）

（財）岐阜県文化財保護センターでは、県下各地において埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、現地説明会などのほか、毎年速報展を開催してその成果を広く県民に報告している。近年の発掘調査では、陶磁器などを焼いていた窯跡、製鉄・鍛冶跡や食糧の生産・獲得の場である水田などの「生産遺跡」について、多くの遺構や遺物を検出し、注目すべき成果を挙げつつある。その中から米づくりと現在もなお本県の主要産業の一つである窯業を中心に、県文化財保護センターの調査した7遺跡をとりあげ、資料を古代から中世にかけて時代別に展示し、生産にかかわる当時の人々の暮らしや知恵、努力などを紹介したのが、この速報展である。

主催は県文化財保護センターであり、当館は昨年度につづき、県教育委員会とともに共催という立場でこの展示会に参画した。



### 〈展示構成〉

水田関連遺跡として5遺跡、窯跡として2遺跡をそれぞれ次のように時代を追って展示した。

#### 水田関連遺跡

- ①深沼遺跡（国府町、弥生時代）
- ②荒尾南遺跡（大垣市、弥生～古墳時代）
- ③今宿遺跡（大垣市、弥生～古墳時代）
- ④下有知遺跡群（関市、弥生～古代）
- ⑤西屋敷遺跡（関市、中世～近世）

#### 窯跡

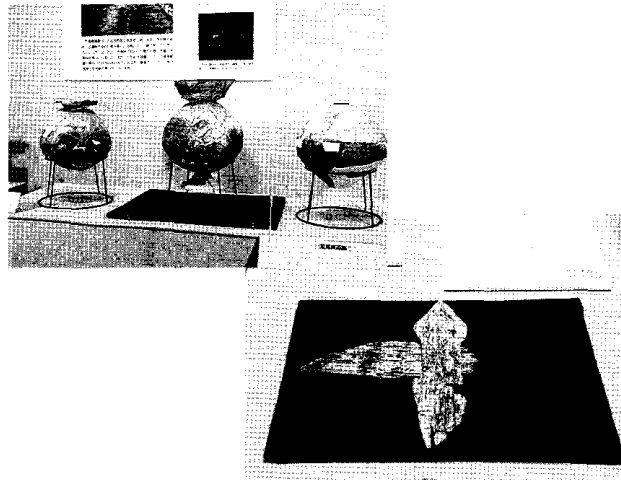
- ⑥船山北古窯跡群（各務原市、古代～中世）
- ⑦北小木古窯跡群（多治見市、中世）

### 〈おもな展示内容〉

#### （1）水田関連遺跡

深沼遺跡では、畦畔のわかる弥生時代の水田土層の剥ぎ取り、荒尾南遺跡では、田下駄・鍬などの木製品、全国でも珍しい82本のオールをもつ大型船と帆掛け船を描

いた線刻絵画土器、今宿遺跡では、古墳時代の水田に4000歩以上残された足跡列の一部切り取り、農業の祭りにかかわる鳥形木製品、弥生土器、土師器を展示した。下有知遺跡群では、高床倉庫のはしごなどの木製品、墨書土器、西屋敷遺跡では、碗・皿・キセル・古銭など生活関連の遺物を展示した。また、各遺跡で検出された水田跡などの遺構を、写真パネルで紹介した。



#### （2）窯跡

船山北古窯跡群では、瓶などの灰釉陶器、大甕、壺・碗・皿・仏具など各種の山茶碗、鎌倉時代初期の年号の刻まれた刻銘陶器、北小木古窯跡群では、山茶碗、皿を展示した。また、窯道具の一つである蓋、焼成中に焼台に付着した皿、窯跡の写真パネルなど、窯のしくみや焼成技術にかかわる資料を展示した。

#### 〈展示資料数〉

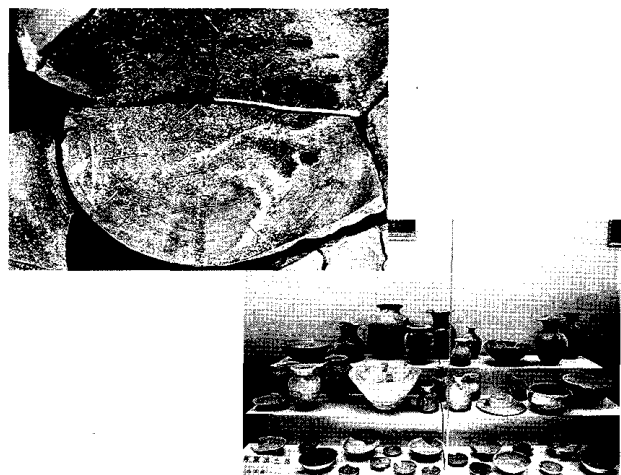
194点（水田関連82点、窯跡112点）

#### 〈関連事業〉

記念講演会 1月18日（日）

「最近の県内発掘事情に見る地域のすがた」

三重大学教授 八賀 晋氏



## 〔調査研究・資料収集活動〕

### —自然部門—

#### 1 調査研究

##### 〈動物分野〉

##### (1) 特別展「ついつのかぶとむし」に係わる調査

###### ①カブトムシの生態調査

昨年に引き続いて、7月から8月に、岐阜大学農学部と共同で、カブトムシのオス二型（大型オスと小型オス）の繁殖成功率を明らかにするため、関市小屋名百年公園でマーキング調査を実施した。

また、昨年度から幼虫の飼育実験も行った。随時、幼虫の体重を測定し、さらに羽化した成虫の角、鞘翅の長さも測定した。これらの結果については、現在、解析中である。



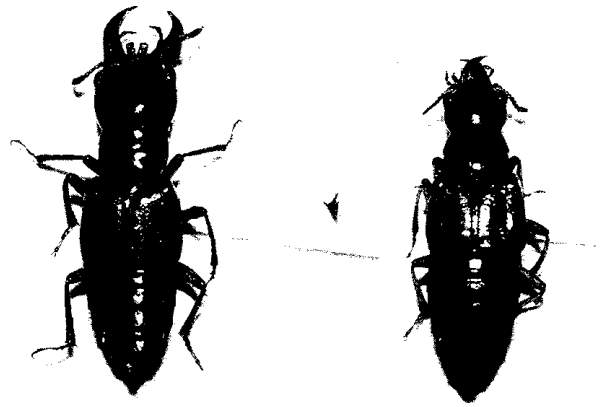
カブトムシの蛹（オス）

昨年度の結果について、日本昆虫学会第57回大会で岐阜大学農学部の土田浩治助教授らと連名で口頭発表した。

②オオキバハネカクシ（甲虫目：ハネカクシ科）の生態について平成5年から7年に、京都府北桑田郡美山町芦生の京大演習林で、オオキバハネカクシのオス成虫の闘争について調査した。その結果について解析し、日本動物行動学会第16回大会でポスター発表した。講演要旨は以下の通りである。

オオキバハネカクシ亜科に属するハネカクシは発達した大顎を持つことが知られているが、その機能はよく分かっていない。演者はブナ倒木上に発生するツキヨタケを食べるオオキバハネカクシ *Oxyporus japonicus* Sharp について調査した。体サイズ（大顎長、頭幅長、前胸幅

長、前翅長）を測定した結果、オスはメスよりばらつきが見られるが、一般的に大きな大顎と頭部を持つことが明らかになった。次に、ブナ原生林で行動観察をしたところ、大型オスは、メスがいたツキヨタケ幼菌上をパトロールし、侵入してきた同種他個体を大顎を使って排除すること（押す、広げて威嚇、相手をつかみ、投げ飛ばす）が、分かった。以上のことから、大型オスでは、大顎が同性内闘争の武器として機能していることが明らかになった。



オオキバハネカクシの成虫（左：オス、右：メス）

##### 〈植物分野〉

##### (1) 伊吹の植物分布調査及び資料収集

伊吹山の岐阜県側地域を中心に植物相のまとめの調査を行った

特に本年度は、特別展を開催するため、伊吹地域の植物分布のまとめの調査と、複製（レプリカ）の製作のための調査が中心になった。

###### ①新たに確認した植物



ホソバナアマナ  
(ユリ科)

*Lloydia triflora*

カテンソウ (イラクサ科) *Nanocnide japonica*  
 エビラフジ (マメ科) *Vicia venosa* var. *cuspidata*  
 ナツトウダイ (トウダイグサ科) *Euphorbia sieboldiana*  
 テツカエデ (カエデ科) *Acer nipponicum*  
 サンカクヅル (ブドウ科) *Vitis flexuosa*  
 ウシタキシソウ (アカバナ科) *Circaea cordata*

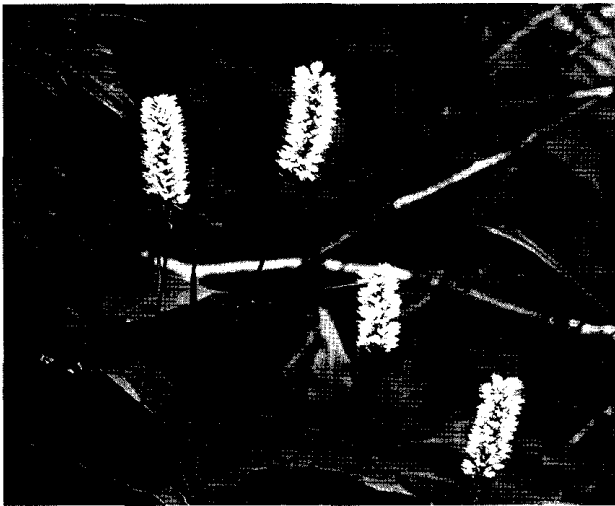
その他50種ほどの新たな植物を確認した。貴重なものは標本資料を作製したり、スライド等の2次資料にとどめたりした。

調査結果はパソコン入力し、伊吹山の植物分布がわかるようにまとめた。最終的には1309種の伊吹山の植物の分布がわかるように設定した。

尚、希少種については情報をふせた。

## ②レプリカ作製のための調査

北尾根の登山道を中心にして伊吹のお花畑を特別展示で再現するために、代表的な植物を選定し、その形態等を調べた。



イブキトラノオ (タデ科) *Bistorta major* var. *japonica*  
 アカソ (イラクサ科) *Boehmeria sylvestris*  
 カワラナデシコ (ナデシコ科) *Dianthus superbus* var. *longicalycinus*  
 キリンソウ (ベンケイソウ科) *Sedum aizoon* var. *floribund*  
 その他20種ほどの植物の形態を調査した。

## (2) 白山調査及び資料収集

継続研究として、白山スーパー林道の三方岩岳に絞って、植物の調査をした。

特にこの地域は貴重な植物が多いことから、伊吹同様にできるだけスライド等の2次資料にとどめた。

ミヤマメシダ (メシダ科) *Athyrium melanolepis*  
 ウダイカンバ (カバノキ科) *Betula maximowicziana*  
 ムカゴイラクサ (イラクサ科) *Laportea bulbifera*  
 スダヤクシュ (ユキノシタ科) *Tiarella polyphylla*  
 オオバキスミレ (スミレ科) *Viola brevistipulata*  
 ウメガサソウ (イチヤクソウ科) *Chimaphila japonica*  
 ミヤマホツツジ (ツツジ科) *Tripetaleia bracteata*  
 ツマトリソウ (サクラソウ科) *Trientalis europaea*

イワイチョウ (ミツガシワ科) *Fauria crista-galli*  
 ササユリ (ユリ科) *Lilium japonicum*

## 〈地学分野〉

### (1) 特別展「薬草のふるさと伊吹」に係わる調査・資料収集

伊吹山周辺の地層・岩石の分布について調査し、美濃帯に属する緑色岩・石灰岩・砂岩・泥岩など調査地域に分布する主要な岩石標本を採集した。

### (2) 資料紹介展「岐阜にゾウのいたころ」に係わる調査・資料収集

瑞浪層群の分布する美濃加茂市・可児市周辺で、瑞浪層群を構成する主な岩石を採集した。また、化石として、脊椎動物骨片・二枚貝・巻貝・植物を採集した。

### (3) 平成11年度特別展に係わる調査・資料収集

大野郡莊川村大黒谷周辺の手取層群を調査し、以下の化石を採集した。

- ・硬鱗魚の鱗
- ・軟体動物

*Modiolus falcatus*

*Myrene (Mesocorbicula) tetoriensis*

*Nippononaia tetoriensis*

*Ostreidae*

*Pharella* sp.

*Sphaerioides* sp.

*Tetoria yokoyamai*

*Unio ogamigoensis*

*Unioidea*

*Viviparus* sp.

- ・植物

*Dictyozamites imamurae*

*Dictyozamites* sp.

*Eboracia nipponica*

*Ginkgoidium* sp.

*Ginkgoites* sp.

*Podozamites reinii*

*Podozamites* sp.

- ・生痕化石



莊川村大黒谷の調査地

#### (4) 岐阜県恐竜化石学術調査団（神岡町地域）

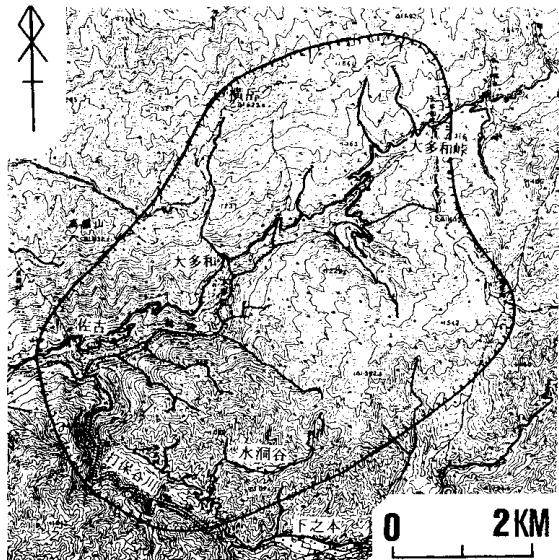
##### ①調査の経緯

平成7年3月に恐竜の卵化石が確認され、岐阜県産の可能性があると発表された。これを契機に、岐阜県では恐竜に関係する化石が産出する可能性がある神岡町地域一帯の手取層群を、3年計画で調査研究することになった。平成7年度は神岡町北ノ俣川地域を調査、平成8年度は山之村地域を調査し、この地域における手取層群の地質と化石を明らかにした。平成9年度は、山之村地域の西隣に位置する大多和地域を調査することになった。

##### ②平成9年度の現地調査

平成9年度の現地調査は、7月25日～28日、8月8日～10日、8月23日～24日の3回、実日数で9日間にわたり延べ92人で行った。調査人数は多い日が12人、少ない日が7人で、野外調査ではそれぞれ2～3人のグループに分かれて山地を踏査した。調査範囲は、跡津川沿いの急峻な滝の多い地域なため、山歩きの経験等を配慮して調査に当たった。地質班の調査結果に基づいて、化石班が化石の詳細調査を進めた。野外調査結果はその日のうちにまとめて、翌日の調査の基礎資料とした。

野外調査の整理は、10月26日に全員で検討を行い、その後は各担当ごとでまとめの室内作業に当たった。調査研究報告書の作成は、12月～2月にかけて行われ、2月上旬に研究指導者（岐阜大学助教授小井土由光氏）の指導を受けて行われた。



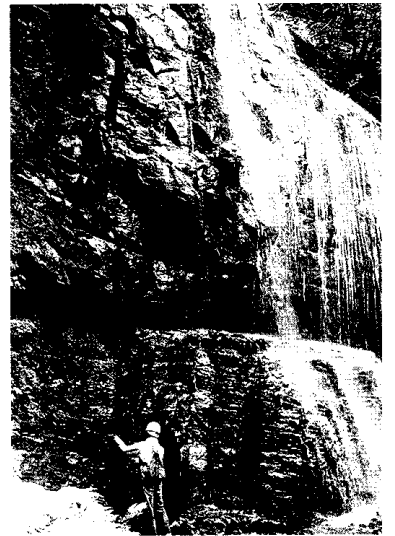
調査範囲と調査ルート

国土地理院発行の5万分の1地形図「有峰湖」の一部を使用した

##### ③調査結果

神岡町大多和地域に分布する手取層群は、飛騨片麻岩類と船津花崗岩類を不整合におおって、下位から、庵谷峠礫岩部層（厚さ約180m以内）、中俣乗越砂岩部層（厚さ約200m）、南俣谷礫岩部層（厚さ約10m以内）および和

佐府砂岩泥岩部層（厚さ約350m以上）が整合して重なり、その積算層厚は約700m以上と推定される。各部層が示す走向はほぼ北東-南西方向であるが、跡津川断層に沿う地域では大きく変化することがある。断層を境にして、その南側では北～北西傾斜、北側ではおおよそ南傾斜であり、それぞれ10°～20°傾くが、基盤岩との境界付近では急変する。これらの各部層中には、ほぼ地層面の方向に沿って貫入した珪長岩類や安山岩類がみられる。



地層の調査風景  
（大多和の跡津川支流の沢）

は急変する。これらの各部層中には、ほぼ地層面の方向に沿って貫入した珪長岩類や安山岩類がみられる。

調査地域の手取層群の形成年代は、フィッション・トラック年代により測定された。手取層群の中俣乗越砂岩部層の凝灰質砂岩が1億2800万年前と1億700万年前と求められた。この値は昨年までの測定結果と比較すると、後者は変質による若返りが認められ、前者も若干の若返り年齢を示す可能性もある。

化石は、大多和地域の中俣乗越砂岩部層と和佐府砂岩泥岩部層において、細～中粒砂岩層から植物化石とわずかの生痕化石が産出した。植物化石は、オニキオプシス・スフェノプテリス・クラドフレピス・グレイケニテス・ポドザミテス・ギンゴイジウム・ギンゴイテスなどが認められた。動物化石は、本調査地域では特に見つからないが、巣穴などの生痕化石が特定の層準から見つかっているので、今後の調査に期待したい。

##### ④恐竜化石について

今回の調査範囲では、恐竜化石を見つけることができなかったが、恐竜が生活していたと考えられる環境下で育った植物化石と生痕化石を採集できた。なお、調査地域の北隣にあたる富山県有峰湖の南東に流れる東谷上流域では、本調査地域に連続する地層から硬鱗魚の鱗化石や恐竜の足跡化石が報告されているので、今後とも注目していく必要がある。

##### ⑤まとめ

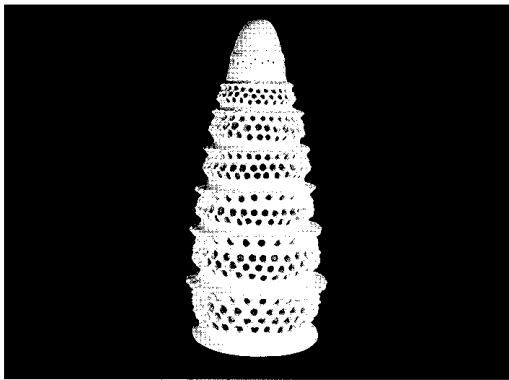
神岡町山之村地域の手取層群について、地質と化石を明らかにした。今年度の調査では、恐竜に直接結びつく化石の発見はなかったが、手取層群の貴重な資料を得ることができた。これは岐阜県の恐竜時代の研究における基礎資料になるものである。

本年度の詳細な調査研究報告は、「岐阜県博物館調査研究報告」Vol.19に発表した。

2 資料数一覧

(平成10年3月1日現在)

分野	館 蔵					借 用	寄 託	館蔵 借用 合計 寄託
	実 物	複 製	自作等他	館 蔵 累 計	(寄贈内数)			
動 物	31,510	16	129	31,655	(17,160)	0	0	31,655
植 物	16,900	67	190	17,157	(2,615)	0	0	17,157
岩石鉱物	2,083	5	73	2,161	(543)	18	0	2,179
化 石	1982	38	23	2,043	(1,078)	47	28	2,118
そ の 他	63	22	168	253	(21)	0	0	253
計	52,538	148	583	53,269	(21,417)	65	28	53,362



放散虫化石復元模型



イブキレイジンソウ (複製)

3 資料寄贈者芳名一覧 (敬称略・順不同)

資 料 名	点数	芳 名	資 料 名	点数	芳 名
ニホンカモシカの頭骨	1	和田 勝志	ハツカネズミ	1	千藤 克彦
オトコタテボシ属の一種	1	木村 昭一	ツミ	1	三宅 愛男
アライグマ	1	千藤 克彦	イタチ	1	古川 巖
ハクビシン	1	大澤 和人	西濃地区植物標本	232	広田 艶子
キビタキ	1	今井 雅之	東濃地区植物標本	53	田中 太
ハクビジン	1	西村 由紀	キノコとブナの実等	4	宮崎 惇
陸産貝類標本	456	田中 雄二	東濃と白山地区植物標本	450	村瀬 正成
ハリガネムシの一種	1	武井久美子	西濃と中濃地区植物標本	400	二村 延夫
チョウセンイタチ	1	千藤 克彦	白山地区植物標本	105	奥田 浩之
キジのヒナ	4	〃	春日村産シダ植物標本	200	粟田 郁男
ハクビジン	1	〃	金鉱石	1	山田不二夫
アオサギ	1	田中 文子	岩石標本	79	道田道子他
マムシ	1	大澤 真美	鉱物標本	7	〃 3名
羽ペン	1	宮崎 惇	化石標本	54	〃
メボソムシクイ	1	杉原 桂一	星砂	1	赤座 憲久
センダイムシクイ	1	今井 雅之	アラレ石	1	児玉 輝彦
タガメ	1	飯田 暁昌			



— 人 文 部 門 —

1 調査研究

〈考古分野〉

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—

美濃飛騨の遺跡、遺物、歴史遺産の文献調査や現地調査を行った。その成果を博物館講座「美濃・飛騨の古代遺跡」で発表した。

〈歴史分野〉

○平成9年度特別陳列「ふるさとの文化財紹介展」—甍る可茂—に係る調査研究

可茂地区11市町村の協力を得て、各市町村の特色がよく表れた文化財の調査研究を行った。また、選定した67件の文化財を平成10年2月21日から3月31日まで特別陳列として特別展示するとともに、調査研究の成果を16ページの小冊子にまとめた。博物館講座「可茂地区の文化財紹介」でも調査研究の成果を発表した。

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—

明治期に岩村電気軌道を創設した浅見与一右衛門の業績と人となりについて文献調査や現地調査を行った。その成果を博物館講座「岐阜県の明治維新～活躍した人物を中心として～」において発表した。

〈民俗分野〉

○岩の文化の調査研究

益田郡萩原町及び土岐市における「石の信仰と伝説」及び「伝説や特異な線、穴等のある岩石」について文献調査をするとともに現地調査を実施した。その調査

研究の成果を小冊子にまとめた。

○平成10年度特別展「能面へのいざない—白山山麓から」に係わる調査研究

- ①白山山麓(岐阜県、石川県、福井県)の寺社に所蔵されている能面
- ②大和地方(奈良県)の寺社に所蔵されている能面
- ③能楽に関連した資料(謡本、古文書、神事能座席図、能図等)
- ④白山信仰関係の資料

上記の点について文献資料の調査や県内外での現地調査を行った。その成果について博物館講座「岐阜県の能面」で発表した。

〈美術・工芸分野〉

○平成9年度特別展「花と鳥のイリュージョン」に係る調査研究

- ①江戸後期の染織にみる花鳥
- ②写生と花鳥画～近世後期の京都画壇～
- ③博物学の世紀～殿様と自然科学～
- ④伝統工芸と花鳥～郡上染を中心に～

それら研究の成果を、特別展、特別展の図録、博物館講座「美術品と自然」等の形で発表した。

○世界の民俗資料紹介展「くらしの中の木の文化」に係わる調査研究

世界民俗センターの収集品より、インド・アフリカ・オーストラリアの人々が、儀礼のために制作した工芸品の用途などを文献調査し、展示に役立てた。

2 資料数一覧

分 野	館			蔵		借 用	寄 託	館蔵 借用 寄託	合 計
	実 物	複 製	自作等 その他	館蔵数 合計	( ) 寄贈・内数				
考 古	1,999	164	52	2,215	(1,803)	517	187		2,919
歴 史	1,368	34	122	1,524	(1,348)	21	163		1,708
民 俗	2,140	2	9	2,151	(2,135)	213	30		2,394
美術・工芸	329	17	37	383	(252)	263	2,011		2,657
そ の 他	0	0	0	0	(0)	0	1		1
計	5,836	217	220	6,273	(5,538)	1,014	2,392		9,678

複製には模型・ジオラマを含む(平成10年3月31日現在)

3 資料寄贈者芳名一覧(敬称略・順不同)

資 料 名	点数	芳 名
国井化月坊 俳句掛幅	1	浅井 元脩
脇指 銘 常陸守宗重	1	宮田 孝尚
短刀 銘 兼衡	1	宮田 孝尚
灰釉耳付広口壺	1	中嶋 光表
三河国舞木廃寺平瓦片	4	石 樽 清
御物石器	1	東山 熙

資 料 名	点数	作 者 名
湛如画像	1	不 詳
葉鶏頭に白鵬図	1	崔 州
山水図	1	中林 竹洞
稲葉正成画像	1	不 詳
美濃国不破名所案内図	1	不 詳
引札 大垣藤田屋音作商店	1	不 詳
美濃図大絵図	1	不 詳
濃飛両国地理明細新全図	1	川瀬善一編
THE GREAT EARTHQUAKE OF JAPAN	1	J. SIMON, W.K. BARTON
濃尾震災誌	1	片山逸朗編
三頼図	1	神原鳳章斎画

4 館蔵資料購入主要作品一覧

資 料 名	点数	作 者 名
近世崎人伝 正・続編	10	伴 蒿溪
牛引図	1	岸 岱
雪梅寿帯鳥図	1	喜田 華堂

## マルチメディア情報センター 〈マルチメディア情報発信事業〉

昨年度までのマルチメディア共同利用実験事業の成果をもとに、既設ネットワークをインターネットと接続し、「県民情報ネットワーク」や「岐阜県教育情報ネットワーク（SMILE）」と連携しながら、博物館情報の提供を開始した。情報の内容としては、当初、

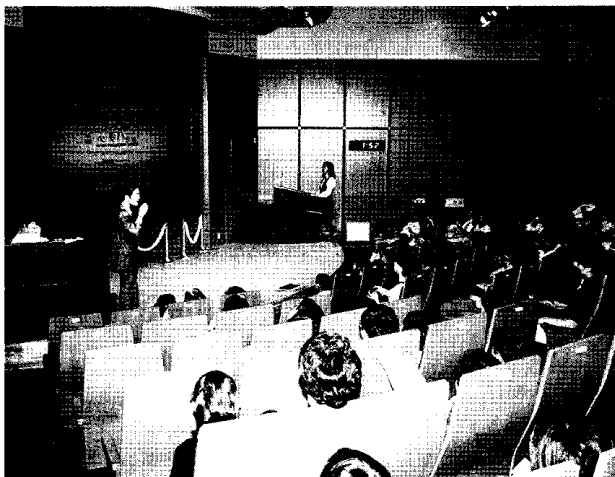
- (1) 博物館の概要や利用案内
- (2) 企画展や講座・教室の実施案内
- (3) 展示コーナー紹介
- (4) 所蔵品などのデータベース

をメニューとして用意し、順次内容の整備を行ってきたが、さらに、図録の紹介やマルチメディア情報センター関連情報なども追加して内容の充実に努めた。また、岐阜県生涯学習センターを中心とした、3ヶ年にわたる「社会教育施設情報化・活性化事業」にも参加し、関連整備を行ってきた。なお、発信情報の整備にあたっては、博物館サポーターの協力を得、大量の情報を効率よくデジタル化して蓄積することができた。

また、館内ネットワーク上のどこのコンピュータからもインターネットにアクセスできるようにし、マルチメディア関連イベントや講座においてインターネットを積極的に活用する一方、マルチメディアの普及啓発の手段として、検索端末の一部を常時開放し来館者が自由にインターネットに親しむことができるようにした。この際、子供からお年寄りまで多くの方が簡単にホームページの閲覧ができるよう、「博物館おすすめサイトメニューシステム」なるものを独自に制作し、この中には、博物館関連のみならずゲームや音楽など多彩な分野のサイトを登録して、気軽に楽しめるようにした。

### 〈マルチメディア関連イベント〉

昨年に引き続き、幼児以上を対象としたイベント「体験！マルチメディア」を合計7回実施する一方、本年度から新たに、小学生以上対象「体験！インターネット」を5回実施した。内容は、以下のとおりである。



「体験！インターネット実施風景」

### ●第一部 ハイビジョンホールでの集団体験

- ・インターネットの概要解説
- ・博物館ホームページの紹介と操作説明
- ・電子メールの送受実演

### ●第二部 マルチメディアスタジオでの個別体験

- ・おすすめサイトメニューを利用したインターネット自由検索

初回には、予想を上回る多くの参加者が集まり、改めてインターネットに対する関心の高さを実感した。

また、博物館講座としては、昨年度に引き続き高校生対象「ハイビジョンマルチメディアソフト制作講座」を実施する一方、今年度、新たに、「インターネット・ホームページ制作講座」を3回連続で開催した。画像を取り込み、各自でホームページを制作・公開するものであるが、一般成人の方からの問い合わせや参加申し込みが殺到し、制作室の収容能力の都合上、参加をお断りしなければならないほどであった。

### 〈ハイビジョンホールの活用〉

今年度も「中山道編」を加えたハイパーハイビジョン風土記の紹介やハイビジョン映像の定期上映・博物館講座会場としての利用のほか、外部団体の見学や講習会・イベントなども積極的に受け入れ、そのサポートをしながら多様な活用を図った。

- ・風土記・環境映像・映画等の上映
- ・高校生課外研修でのマルチメディア紹介
- ・教員の教科研修会
- ・林政部・県文化財保護センター主催講座等

### 〈長期派遣研修生の受け入れ〉

10月から3ヶ月間、大垣商業高等学校教諭1名の長期派遣研修を受け入れ、マルチメディアソフトの制作、インターネット関連の研究を深めて頂いた。博物館での研究成果が学校の現場において活用されていくことを期待したい。

### 〈通商産業省関連施設との連携〉

5月に全国に点在するマルチメディア情報センターやデジタルファクトリーなどによる合同会議が東京で行われ、これを契機に、産業支援施設や企業・クリエイター・関連団体等を含めた協議会の設立が提案され、岐阜県マルチメディア情報センターも発起人の一員として規約整備や会員募集などの準備にあたった。そして、3月4日、大阪で設立総会が行われ、今後、協議会の一員として連携事業を進めていくことになった。概要は以下のとおり。

名称 地域マルチメディアコンテンツ産業支援協議会  
目的 地域のマルチメディア産業の活性化、基盤確立、育成及び振興

参加団体数 正会員36 賛助会員141

事業内容 インターネットによる施設間情報交流・調査研究・企業や人材等の情報提供

## 〈マルチメディア工房・ぎふ〉

ハイビジョン王国・岐阜づくりの一環である「マルチメディア工房・ぎふ」の第1号として平成7年10月1日にオープンした。県内には現在までに24施設稼働し、年度末までに26施設になる計画である。県民のマルチメディアソフト制作支援の場として開放してある。

### 1. 工房の利用について

サポーターの協力を得て以下の内容の活動をした。静止画ソフト制作装置の利用状況は、サポーター中心に月平均約15件程度である。

- ①高校生対象のハイビジョンマルチメディア制作講座を5月より10月まで計7回開催し、関高等学校の生徒9人(2年生)が参加し、3作品を制作した。講座日以外にも工房を利用し制作を行った。
- ②先の制作講座以外に関高等学校ハイビジョン同好会が継続的に活動し番組制作に取り組んだ。同好会の会員は現在13名である。
- ③継続的な利用の他に体験利用として、大垣農業高校・明智商業高校・岐阜女子大学がハイビジョンソフト制作体験に取り組んだ。明智商業高校は、1番組を制作しコンテストに出品した。
- ④未来会館主催の手作りハイビジョン静止画ソフト講座では、1グループが時間の制約から画像の取り込み、番組制作等を当博物館の工房を利用した。
- ⑤マイミュージアムギャラリーの出展者の協力を得て展示作品の番組化とともにデジタルデータとしての保存をしている。今年度は、平成8年度第7回展示「紙の美術品」の中の〈切手の世界〉を番組化した。また、〈教科書〉を制作中である。

### 2. ソフトコンテストについて

- ①H9. 11/7第5回全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタのコンテストが大垣市サイトピアセンターを会場に開催された。当館からは3作品(星降る夜に逢いましょう、九月某日、美濃の刀剣「鐔」)を応募した。関高校生徒(博物館講座)の作品である九月某日は、写真

等を最小限にとどめ、ソフトで制作した絵図だけで表現した点が評価され「奨励賞」を受賞した。



- ②H9. 3/1第2回「マルチメディア工房・ぎふ」ソフトコンテストがサポーターの交流を目的にハイビジョンの部とマルチメディアの部に分け実施された。当館からは5作品(ハイビジョンの部4作品:ハイビジョンで美しさを伝える、名もなき蝶の物語、日本 大正村、切手の中の名画、マルチメディアの部1作品:博物館ホームページ)を出品し、博物館同人森井健作氏制作の「切手の中の名画」が高い評価を得て、奨励賞を、またサポーター島田信子さん制作の「博物館ホームページ」が努力賞を受賞した。なお、当コンテスト出品作品はハイビジョンの部9作品、マルチメディアの部54作品であった。



### 3. 平成9年度制作番組一覧表

①星降る夜に逢いましょう	5'04"	関高等学校	夜の星を眺めながら楽しかった思い出を綴った作品
②九月某日	4'55"	関高校生徒	デートの日が台風となった二人のやりとりをソフトで制作した絵を中心に紹介(全国ハイビジョンソフトフェスタ'97 奨励賞受賞)
③ハイビジョンで美しさを伝える	3'26"	関高校生徒	夜空の星の写真を中心にハイビジョン画面での画像加工の紹介
④名もなき蝶の物語	2'30"	関高校生徒	蝶の目を通し山野の風景を紹介
⑤仏佐吉の画伝	3'10"	県図書館・博物館他	仏佐吉と呼ばれた永田佐吉翁の一生を綴った画伝の紹介
⑥日本 大正村	3'10"	明智商業高生徒	大正村の施設と明智町の行事を楽しい語りでユーモラスに紹介
⑦切手の中の名画	10'00"	博物館・サポータ	切手のいろいろな縁取り、小さな切手発行国のことなども含め個別、画家別に名画を紹介(第2回マルチメディア工房・ぎふソフトコンテスト 奨励賞受賞)

注) マイミュージアムギャラリー出展品のうち大工道具、教科書、掛け軸、古鏡等を番組化する計画である。

「ハイパーハイビジョン風土記ひだ・みの紀行」ソフト制作完成

(1) 飛騨・郡上街道編の制作

「ハイパーハイビジョン風土記ひだ・みの紀行」は、岐阜県内の人文・自然の多種多様な事象を現代の風土記として紹介するマルチメディアソフトである。これは、対話型ソフト展開（自在な双方向検索）を可能にした世界初のハイビジョンマルチメディアソフトである。

平成6年度に「美濃路編」、平成8年度に「中山道編」を完成させ、今年度「飛騨街道編」「郡上街道編」の制作によって、県内を網羅したソフトが完成する。

(2) 飛騨・郡上街道編の内容

	飛騨街道編	郡上街道編
対象市町村	川辺町、七宗町、白川町、東白川村、金山町、下呂町、萩原町、小坂町、馬瀬村、久々野町、宮村、清見村、朝日村、高根村、高山市、丹生川村、国府町、古川町、河合村、宮川村、神岡町、上宝村の22市町村	美濃市、高富町、伊自良村、美山町、洞戸村、板取村、武芸川町、美並村、武儀町、上之保村、八幡町、大和町、白鳥町、高鷲村、明宝村、和良村、荘川村、白川村の18市町村
事象数	132	105
紹介映像分類数	H D V 番組14 N T S C 番組46 H D S 番組25 写真資料40 解説文のみ18	H D V 番組11 N T S C 番組28 H D S 番組16 写真資料37 音声資料1 解説文のみ16

\* HDV……ハイビジョン動画、NTSC……ビデオ動画  
HDS……ハイビジョン静止画

\*一つの事象に複数の紹介映像が含まれるものがある。  
また、各事象に解説文を付した。



ソフト制作風景

(3) 風土記「ひだ・みの紀行」の全体内容

対象市町村	岐阜県内99市町村
事象数	564事象
紹介映像分類数	ハイビジョン動画番組 56 ハイビジョン静止画番組 118 NTSC動画番組 171 写真資料 173 (紹介写真枚数1430) 音声資料 3 解説文のみ 85 *その他、番組や学習キーワードにイラストも多く使用している。 *各事象には、解説文が必ずある。また、1事象に複数の紹介映像を含むものもある。
分類別事象数	考古22、歴史36、祭・芸能60、生活・民具14、美術・工芸28、神社28、仏閣54、名勝・史跡45、人物32、産業57、交通23、施設・建造物38、地学38、植物27、動物38、その他24 *1事象1分類なので、神社の中に祭の映像があっても神社で分類してある。
導入画面	コース選択画面（街道選択、地域選択、項目検索、おすすめ散歩）
地図画面	1階層（拡大マップなし）
コンピュータグラフィック	オーバービュー、断層など
新規撮影動画数	ハイビジョン動画25本、NTSC動画37本
事象例	大垣城、輪中の生活、根尾谷断層、アライグマ、高山祭、飛騨の匠、明宝村立博物館、蛭ヶ野高原など

(4) まとめ

- ・県民からの提供資料活用については、各市町村の教育委員会、商工観光課などの公共機関を始め、個人所有の資料を積極的に活用した。
- ・ソフトの活用が今後の課題であるが、学校現場で授業の一環として利用できるように工夫する。
- ・紹介事象数が564とデータベースとしては、資料不足なのでデータの追加を検討する。
- ・ソフト・ハード共に現状維持では陳腐化するので、更新ができるような仕組みを検討する。

## 〔教育普及活動〕

### 1 概要

平成9年度は、特別展（2回）、資料紹介展（2回）特別陳列（1回）の他、各種関連事業を年間64回実施した。またマイミュージアムギャラリーでは年間8回の展示を行うと共に、ギャラリー出展者が展示説明会・制作実演・座談会・写真教室などを自主的に行われ、総事業数は70回を超えた。

さらに、春休みと夏休みにはハイビジョンホールでの映画会を企画・実施し、子供たちが気軽に参加しやすい博物館づくりに努力した。

### 2 教育活動

#### (1) 催しもの

催しものは、「講演会」（7回）、「博物館講座」（22回）、「自然観察会」（6回）、「たのしい博物館」（22回）、「特別行事」（7回）などであった。

今年度の催しもの主な活動概要は次の通りである。

特別展「葉草のふるさと伊吹」の関連事業として春日村や伊吹山での「自然観察会」を3回、葉草染めや葉草料理体験をする「たのしい博物館」を2回実施した。これらの事業によって、特別展への関心が一層高まり、大きなPRとなった。

「博物館講座」では、連続講座として行った「ハイビジョンソフト制作講座」（7回）や「インターネット・ホームページ制作講座」（3回）は、博物館が持つマルチメディア情報センターとしての機能を生かした内容であった。また、「古寺を訪ねて」（6回）は、毎回多くの受講者があり、日本の歴史や文化への関心の高さを示すもので、こうした内容の事業を実施する必要性を感じた。

特別行事「七草がゆを食べよう」は、「七草採集」を前日に実施したこともあり、大変多くの参加者があった。2日続きの事業として展開したことや、新聞やテレビで大きく取り上げられたこと、さらには博物館の特色ある事業として定着したことが要因であった。

特別行事として共催で行った「恐竜ゼミナール」（上宝村）、「きのこゼミナール」（県林政部）、「写生大会」（百年公園事務所）などにも、多くの方が参加され好評であった。

#### (2) 館内解説

入館者の希望に応じて、特別展・資料紹介展や常設展の展示解説を行った。たのしい博物館「体験！マルチメディア」や「体験！インターネット」で機器使用解説を積極的に行った。また、博物館資料での体験学習で来館した小学生に対して、資料の扱い方や解説を行った。

さらに、博物館展示解説「ワンポイントガイド」や特別展・資料紹介展のクイズを作成し、来館者に配布した。

#### (3) 博物館における学校等の研修

学校・社会教育機関等の授業や研修を学芸員が指導・

援助した。

- ・小学校社会科体験学習…下之保小・上之保小等の学校  
岐阜市小学校生活科研究会等
- ・マルチメディア研修……愛知淑徳大学・東海女子大学  
武儀郡生涯学習指導者研究会  
県警察学校・大垣農業高校等
- ・自然観察学習等……………岐阜市の子ども会・関市社会  
教育課「少年少女科学教室」等

これらの他に、企業のマルチメディア研修や市町村の文化財審議会（人文・自然）の研修等で、学芸員が講話したり、実習指導をした。

### 3 広報活動

新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して積極的に働きかけた。特に特別展「花と鳥のイリュージョン」は新聞社3紙に、特別展「葉草のふるさと伊吹」は2紙に連載記事が掲載された。

また、「インターネット利用の手引き」のパンフレットも作成し、各関係機関へ配布するなどの広報を行った。

### 4 博物館実習生指導

9月11日から9月19日までの8日間、東海女子大学（3名）・愛知県立芸術大学（1名）・三重大学（1名）・都留文科大学（1名）・新潟大学（1名）・立正大学（1名）・愛知学院大学（1名）・東海大学（1名）・筑波大学（1名）の9大学から11名の学生を受け入れ、実習生指導を館長・学芸部長をはじめ、学芸部職員全員で行った。

### 5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	期間 (年月日)	点数
人	永保寺	装飾妙法蓮華経	9・5/16～ 10・5/14	2
	西脇正雄氏	古瀬戸灰釉瓶子	9・6/3～ 9・6/10	1
	大垣市郷土館	佐藤三吉関係資料	9・6/21～ 9・9/15	7
	大津市 歴史博物館	能面	9・9/1～ 9・10/26	2
	土岐市美濃 陶磁歴史館	青織部燭台 鳴海織部四方鉢	9・9/11～ 9・12/5	2
	神宮美術館	加藤東一「望郷」	9・10/2～ 9・11/18	1
	丹生川村役場	根方人骨	9・10/6～ 9・10/17	1
文	関市千疋ふれあいセ ンター推進委員会	陽徳寺裏山1号 墳出土品	9・5/16～ 10・5/14	65
	半原浄瑠璃 保存会	人形浄瑠璃頭	10・1/31～ 10・3/31	1
	可児郷土館	志野鉢片 志野向付片	10・2/12～ 10・3/31	2

分野	機関名	資料名	期間 (年月日)	点数
自然	東可児中学校	恐竜展示パネル	9・4/5～ 9・6/5	60
	川瀬雅博	ホ乳類頭骨標本	9・4/19～ 9・4/22	14
	林 伸彦	ホ乳類頭骨標本	9・4/25～ 9・4/30	14
	鳥取県立 博物館	ホンデオコジョ など	9・7/7～ 9・9/10	7
	岐阜市科学館	ホ乳類・鳥類は く製・標本など	9・7/15～ 9・9/7	31
	(財)大垣市 文化事業団	ホ乳類はく製 標本など	9・7/22～ 9・9/2	22
	巣南町 教育委員会	ハリヨ (ネガフィルム)	9・10/29～ 9・11/4	1
	大神正貴氏	三葉虫・アンモ ナイト化石	9・11/2～ 10・1/10	18
	岐阜市科学館	美濃隕石関連資料	9・11/2～ 9・11/24	5

分野	機関名	資料名	期間 (年月日)	点数
自然	群馬県立 自然史博物館	頭足類顎付き首 長竜標本	10・1/17～ 10・2/28	1
	県文化課	ライチョウ (スライド)	10・2/9～ 10・2/22	3
	岐阜新聞社	ライチョウ・カモ シカ(スライド)	10・2/16～ 10・2/23	6
	学習システム 研究会	薬草のふるさと 伊吹(スライド)	10・3/10～ 10・3/31	129

## 6 図書資料

平成9年度現在の図書資料数は、下記の通りである。

	図書資料数 (平成10年3月20日現在)	備考
人文関係	11, 817	含刀剣文庫
自然関係	9, 448	含棚橋文庫・熊田文庫
総計	21, 265	

## 7 刊行物一覧

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館だより 第62号	9. 4. 1	A4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館だより 第63号	9. 7. 1	A4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館だより 第64号	9. 9. 1	A4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館報 第21号	9. 4. 1	A4 38頁	1, 200	
平成9年度 岐阜県博物館催しもの案内 (B3判)	9. 4. 1	B3	3, 000	
平成9年度 岐阜県博物館催しもの案内 (A4判)	9. 4. 1	A4 3ツ折	30, 000	
博物館リーフレット	9. 4. 1	A4 8頁	5, 000	
インターネット利用の手引き	10. 3. 31	A4 3ツ折	5, 000	
岐阜県博物館調査研究報告, Vol.19	10. 3. 31	A4 48頁	700	
特別展図録 花と鳥のイリュージョン 薬草のふるさと伊吹	9. 4. 25 9. 9. 13	A4 56頁 A4 62頁	600 600	友の会増刷 (1, 200) (1, 000)
特別展図録の増刷 輪中と治水 失われゆく植物 岐阜の淡水魚	9. 4. 1 9. 4. 9 9. 4. 1	B5 60頁 B5 64頁 B5 68頁	0 0 0	友の会増刷 (1, 000) (1, 000) (1, 500)
特別展等のポスター・ちらし 花と鳥のイリュージョン ポスター 花と鳥のイリュージョン ちらし 恐竜ゼミナール ポスター 恐竜ゼミナール ちらし 薬草のふるさと伊吹 ポスター 薬草のふるさと伊吹 ちらし	9. 4. 25 9. 4. 25 9. 6. 2 9. 6. 2 9. 9. 13 9. 9. 13	B2 A4 A2 A4 B2 A4	2, 000 25, 000 2, 000 16, 000 2, 000 25, 000	友の会発行 友の会発行
資料紹介展・特別陳列のパンフレット・冊子 大垣内貝類コレクション ポスター 大垣内貝類コレクション ちらし 大垣内貝類コレクション 貝類目録 ふるさとの文化財紹介展 ポスター ふるさとの文化財紹介展 ちらし ふるさとの文化財紹介展 冊子	9. 7. 5 9. 7. 5 9. 7. 5 10. 2. 21 10. 2. 21 10. 2. 21	B2 A4 A4 148頁 B2 A4 A4 16頁	1, 000 20, 000 1, 000 2, 000 15, 000 5, 000	友の会発行
マイ・ミュージアム刊行物 マイ・コレクション第15号 マイ・コレクション第16号 マイ・コレクション第17号 マイ・コレクション第18号 マイ・コレクション第19号 マイ・コレクション第20号 マイ・コレクション第21号 マイ・コレクション第22号 マイミュージアムギャラリー ポスター マイミュージアムギャラリー ちらし	9. 4. 5 9. 5. 10 9. 6. 29 9. 8. 10 9. 9. 28 9. 11. 11 10. 1. 6 10. 2. 21 9. 4. 1 9. 4. 1	A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 A4 4頁 B2 A4	1, 000 1, 500 1, 000 1, 500 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 1, 000 10, 000	

## 8 恐竜ゼミナール GIFU'97 in KAMITAKARA —学ぼう古生代から中世代の化石—

岐阜県博物館・上宝村共催

### (1) 事業の主旨

ア 恐竜・化石・地層などに関する正しい知識を学ぶとともに、恐竜時代に至る化石の夢とロマンを子どもたちに提供する。

イ 全国各地から参加の子どもたちが、奥飛騨の豊かな自然の中でふれ合い、交流を深める。

ウ ゼミナール参加の子どもたちをとおして、正しい情報を広く発信する。

エ 博物館と地域が連携して事業を推進することで、博物館の活動内容を広げるとともに、地域の文化事業を支援しその定着を図る。

### (2) 事業の内容

恐竜や化石について基本的な学習をする恐竜・化石セミナーと恐竜イラスト教室、化石の観察会などを2日間にわたって実施した。

#### ①第1日（8月20日・水）

ア 会場 上宝村観光会館

イ 内容

- ・恐竜ゼミナール開講式、
- ・恐竜化石セミナー

「不思議いっばいの古代生物—恐竜—」

講師：東京大学名誉教授、放送大学教授、生命の星・地球博物館館長 濱田隆士さん

「日本と中国の恐竜」

講師：福井県立博物館主任学芸員 東 洋一さん

- ・恐竜イラスト教室

講師：恐竜イラストレーター ヒサクニヒコさん

- ・おたのしみクイズ大会

ウ 参加者218名



#### ②第2日（8月21日・木）

ア 会場 上宝村観光会館および付近一帯  
上宝村福地温泉一帯

イ 内容

- ・奥飛騨の自然観察会

講師：北アルプス自然文化センター・大森清孝さん、  
植田清敏さん、植田敦子さん、近藤紀巳さん

・恐竜化石セミナー

「動物らしくなってきた恐竜」

講師：ヒサクニヒコさん

「手取層群と岐阜の恐竜」

講師：岐阜県博物館 鹿野勤次

「上宝村福地の化石」

講師：濱田隆士さん

・恐竜ゼミナール閉講式

・古生代の化石観察会

講師：館学芸員

ウ 参加者218名



### (3) 事業実施の経過

共催の上宝村（担当：商工観光課）と綿密な連絡を取り合って計画・運営に当たった。事業内容全般の準備は博物館が、参加申込や宿泊斡旋などの事務局業務や会場設営については上宝村が担当した。参加者募集や広報活動は両者が分担・協力して行った。

#### ①広報関係

事業実施と参加者募集についての記者資料配布について、県関係機関・県内各市町村教育委員会および関係機関、県内全小中学校、愛知県尾張・海部両教育事務所管内小中学校への参加者募集ポスター・チラシの配布を行った。また、岐阜・愛知・三重・富山各県において参加者募集の新聞広告を行った。

#### ②実施状況

上宝村観光会館を主会場とする1泊2日の事業であり、参加者の受付業務や宿泊斡旋をスムーズに行うため、事務局を上宝村役場とした。

宿泊については奥飛騨温泉観光協会、セミナーの会場移動では上宝村教育委員会、自然観察会では北アルプス自然文化センターの協力をそれぞれいただいて、計画どおりの運営ができた。

#### (4) 今後の方向

平成10年度も上宝村との共催事業として開催し、内容や運営面は9年度を踏襲しながらも、より充実したものとするための工夫・改善を加えながら準備を進めている。

平成9年度の催しもの結果一覧

事業名	期日	対象	定員	内容	参加人員
特別展講演会	5/3	一般		花鳥画の流れの中に見る円山派の思想 京都大学教授 佐々木丞平さん	70
	5/11	一般		旗本・馬場大助の世界 東京国立博物館資料第二研究室長 佐々木利和さん	60
	9/28	一般		わたしの見た伊吹の貴重な植物 研究所 所長 井波 一雄さん	122
	10/26	一般		伊吹山薬草の研究史 岐阜薬科大学名誉教授 井波 瑞夫さん	96
文化講演会	11/9	一般		京都の仏像と奈良の仏像 東海女子大学教授 清水 善三さん	120
記念講演会	8/3	一般		かたつむりのはなし 大垣 内宏さん	176
	12/7	一般		くらしの中の文化 ーインドを中心として 宮崎 博さん	30
博物館講座	1/18	一般		最近の世界民族博物館(1)トルワールド)主任研究員 高橋 貴さん	135
	5/24	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 1	9
	5/25	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 2	50
	6/1	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 3	136
	6/28	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 4	9
	7/20	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 5	80
	7/21	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 6	11
	8/2	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 7	10
	8/23	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 8	7
	9/21	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 9	91
	9/27	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 10	8
	10/19	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 11	80
	10/25	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 12	80
11/2	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 13	24	
11/24	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 14	35	
11/30	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 15	44	
1/24	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 16	98	
1/25	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 17	7	
2/1	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 18	73	
2/28	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 19	30	
3/8	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 20	12	
3/21	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 21	61	
3/22	高校生	8	マルチメディアソフト制作講座 22	7	
自然観察会	4/26	小学生以上	40	ヒトクチャケウの観察 春日村	16
	7/6	小学生以上	20	身近な野草の観察 春日村	37
	8/13	小学生以上	40	郷土の伊吹山植物体 春日村	26
	9/14	小学生以上	50	モリモリ植物体 春日村	22
	10/12	小学生以上	50	百年公園のバードウォッチング 岐阜薬科大学助教授 田中 俊弘さん	58
恐竜ゼミナール	8/20	小学3年以上	200	恐竜ゼミナール G I F U ' 9 7 i n K A M I T A K A R A 東京大学名誉教授 濱田 隆士さん、恐竜イラストレーター ヒサクニヒコさん	20日 218
	8/21	小学3年以上	200	福井県立博物館主任学芸員 東 洋一さん	21日 218
陶芸教室	7/13	一般	30	茶碗 陶芸家 岡田孝司・春海さん	18
たのしい博物館	4/12	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	37
	5/10	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	50
	7/12	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	85
	7/27	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	49
	8/1	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	65
	8/8	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	60
	8/10	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	85
	8/29	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	54
	9/13	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	31
	9/23	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	65
	10/5	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	165
	10/11	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	36
	11/8	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	60
	11/22	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	20
	11/23	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	54
12/13	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	18	
12/14	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	16	
12/21	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	31	
1/10	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	16	
2/14	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	20	
3/14	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	34	
3/28	幼児	40	体験！マルチメディアソフト制作講座	119	
特別行事	4/29	親子	100	グリーンアドベンチャー大会 岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	163
	7/18	親子	120	岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	144
	8/9	親子	120	岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	115
	10/19	親子	50	岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	174
	11/3	親子	50	岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	409
	1/6	親子	200	岐阜県森林文化センター(文化としての森林) 共催：県林政部	78

事業名	実施期間	主な内容	観覧人員
春休みハイビジョン特別番組の上映	3月25日(火)~30日(日)	・野生の王国・忍たま乱太郎・岩壁に挑む・未知との遭遇・ジュラシックパーク等の上映	781
	4月1日(火)~6日(日)	・大峽谷400キロ激流筏下り・忍たま乱太郎・未知との遭遇・ジュラシックパーク等の上映	621
夏休みハイビジョン特別番組の上映	7月20日(日)~8月31日(日)	・鉄腕アトム「宇宙空港R-45」「ウランちゃんとうらんちゃん」 ・未知との遭遇・ジュラシックパーク等の上映	7201



〔図書資料寄贈者芳名一覧〕

(平成9年3月1日～平成10年2月28日) (順序不同)

【博物館関係】

- 国立歴史民俗博物館
- 東京国立博物館
- 国立科学博物館
- 科学技術館
- 東京国立近代美術館
- 国立科学博物館附属自然教育園
- 京都国立博物館
- 国立民族学博物館
- 奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
- 九州国立博物館誘致推進本部
- 北海道開拓の村
- 北海道開拓記念館
- 北海道立北方民族博物館
- 小樽市博物館
- 釧路市立博物館
- 苫小牧市博物館
- 三笠市立博物館
- 市立函館博物館
- 根室市博物館開設準備室
- 上士幌町ひがし大雪博物館
- 穂別町立博物館
- 利尻町立博物館
- 青森県立郷土館
- 八戸市博物館
- 岩手県立博物館
- 北上市立鬼の館
- 岩手県農業博物館
- 仙台市博物館
- 仙台市科学館
- 仙台市歴史民俗資料館
- 東北歴史資料館
- 地底の森ミュージアム
- 秋田県立博物館
- 秋田県立近代美術館
- 山形県立博物館
- 致道博物館
- 県立うきたむ風土記の丘考古資料館
- 山寺芭蕉記念館
- 福島県立博物館
- 三春町歴史民俗資料館
- 茨城県立歴史館
- 上浦市立博物館
- 日立市郷土博物館
- 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
- ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- 栃木県立博物館
- 小山市立博物館
- 栃木県立なす風土記の丘資料館
- 群馬県立歴史博物館
- 富岡市立美術館
- 群馬県立自然史博物館
- 浦和市立郷土博物館
- 埼玉県立博物館
- 埼玉県さきたま資料館
- 戸田市立郷土博物館
- さいたま川の博物館
- 埼玉県立自然史博物館
- 千葉県立中央博物館
- 千葉県立美術館
- 我孫子市鳥の博物館
- 市立市川考古博物館
- 千葉県加曽利貝塚博物館
- 千葉県立現代産業科学館
- 君津市立久留里城址資料館
- 千葉県立大根博物館
- 千葉県立上総博物館
- 千葉県立安房博物館
- 千葉県立房総風土記の丘
- 千葉県立総南博物館
- 千葉県立房総のむら
- 松戸文化ホール
- 衆議院憲政記念館
- 足立区立郷土博物館
- 船橋区立郷土資料館
- 大田区立郷土博物館
- 紙の博物館
- 船の科学館
- たばこ塩の博物館
- 東京都江戸東京博物館
- 世田谷区立郷土資料館
- 家具の博物館
- 通信総合博物館
- 豊島区立郷土資料館
- 府中市美術館開設準備室
- 三井文庫
- 港区立港郷土資料館
- サントリイ美術館
- 江戸東京たてもの園
- 多摩六都科学館
- 調布市郷土博物館
- 八王子郷土資料館
- 府中市郷土の森博物館
- 東京都高尾自然科学博物館
- 福生市郷土資料館
- J R A 競馬博物館
- 神奈川県立近代美術館
- シルク博物館
- 神奈川県立歴史博物館
- 神奈川県立金沢文庫
- 馬の博物館
- 横浜マリタイムミュージアム
- 横浜市歴史博物館
- 川崎市市民ミュージアム
- 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 平塚市博物館
- 茅ヶ崎市文化資料館
- 鎌倉国宝館
- 箱根町立大涌谷自然科学館
- 川崎市立日本民家園
- 松本市立博物館
- 日本民俗資料館
- 長野市立博物館
- 長野県立歴史館
- 飯田市美術館
- 飯田市上郷考古博物館
- 山と博物館
- 大町山岳博物館
- 須坂市立博物館
- 信濃町立野尻湖ナウマンゾウ博物館
- 塩尻市立平出遺跡考古博物館
- 柏崎市立博物館
- 長岡市立科学博物館
- 相川郷土博物館
- 富山市立自然史美術館
- 富岡市立博物館
- 富山市郷土博物館
- 富山市科学文化センター
- 魚津水族館
- 富山県立立山博物館
- 松任市立博物館
- 立山カルデラ砂防博物館(仮)
- 石川県立歴史博物館
- 石川県立美術館
- 石川県輪島漆芸美術館
- 小松市立博物館
- 松任市立中川一政記念美術館
- のと海洋ふれあいセンター
- 石川県白山自然保護センター
- 福井市立若狭歴史民俗資料館
- 福井県立博物館
- 福井市自然史博物館
- 福井県自然保護センター
- 敦賀市立博物館
- 静岡県立美術館
- 静岡県立登呂博物館
- 東海大学海洋科学博物館
- 上原仏教美術振興財団
- 下田海中水族館
- 沼津歴史民俗資料館
- 沼津市明治史料館
- 富士市立博物館
- 浜松市博物館
- 焼津市歴史民俗資料館
- 愛知県美術館
- 愛知県芸術文化センター
- 徳川美術館
- 熱田神宮宝物館
- 名古屋博物館
- 名古屋市政資料館
- 名古屋科学館
- 名古屋美術館
- でんきの科学館
- 名古屋市見晴台考古資料館
- 一宮博物館
- 博物館明治村
- リトルワールド
- 瀬戸市歴史民俗資料館
- 日本モンキーセンター
- 愛知県陶磁資料館
- 豊田市郷土資料館
- 豊田市美術館
- 豊橋市美術館
- 豊橋市自然史博物館
- 豊橋市地下資料館
- 豊橋市二川宿本陣資料館
- 岡崎市教育委員会岡崎市郷土資料館
- 安城市歴史博物館
- 知立市歴史民俗資料館
- 半田市立博物館
- 尾西市歴史民俗資料館
- 碧南市青少年海の科学館
- トヨタ博物館
- 名古屋ポストン美術館
- 産業技術記念館
- 東海銀行貨幣資料館
- 鳳来寺山自然科学博物館
- 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館
- 真珠博物館・御木本幸吉記念館
- 三重県立博物館
- 御在所自然科学博物館・日本カモシカセンター
- 四日市市立博物館
- 桑名市博物館
- 海の博物館
- 鳥羽水族館
- 斎宮歴史博物館
- 藤原岳自然科学館
- 大津市歴史博物館
- 滋賀県立琵琶湖文化館
- 滋賀県立琵琶湖博物館
- 彦根城博物館
- 滋賀県立安土城考古博物館
- 滋賀県立陶芸の森
- 栗東歴史民俗博物館
- 裏千家センター茶道資料館
- 京都府立総合資料館
- 京都府立文化博物館
- 霊山歴史館
- 京都府立丹後郷土資料館
- 大阪市立博物館
- 大阪市立科学館
- 大阪市立自然歴史博物館
- 大阪人権博物館
- 吹田市立博物館
- 大阪府立弥生文化博物館
- 堺市博物館
- 柏原市立歴史資料館
- 岸和田市立郷土資料館
- 大阪府立近つ飛鳥博物館
- 神戸市立博物館
- 神戸海洋博物館
- 神戸市立小磯記念美術館
- 兵庫県立歴史博物館
- 姫路市立水族館
- 尼崎歴史博物館準備室
- 兵庫県立人と自然の博物館
- 伊丹市立博物館
- 大和文華館
- 橿原市千塚資料館
- 県立橿原考古学研究所付属博物館
- 和歌山県立博物館
- 和歌山市立博物館
- 和歌山県立自然博物館
- 田部美術館
- 鳥取県立博物館
- 岡山県立博物館
- 岡山県立美術館
- 津山洋学資料館
- 倉敷市立自然史博物館
- 広島県交通科学館
- 広島市安佐動物公園
- 広島県立美術館
- 広島県立歴史博物館
- 日本はきもの博物館・郷土玩具館
- 広島県立歴史民俗資料館
- 宮島町立宮島歴史民俗資料館
- 山口県立山口博物館
- 広島城
- 美祿市歴史民俗資料館
- 秋吉台科学博物館
- 下関市立考古博物館
- 徳島県立博物館
- 徳島市立徳島城博物館
- 高松市歴史資料館
- 香川歴史博物館建設準備室
- 香川県自然科学館
- 愛媛県立博物館
- 愛媛県総合科学博物館
- 愛媛県歴史文化博物館
- 高知市立自由民権記念館
- 高知市立歴史民俗資料館
- 福岡市立美術館
- 福岡県青少年科学館

福岡市総合図書館  
北九州市立歴史博物館  
北九州市立考古博物館  
北九州市立自然史博物館  
九州歴史資料館  
佐賀県立博物館／美術館  
佐賀県立名護屋城博物館  
長崎県立美術博物館  
長崎市立博物館  
熊本市立熊本博物館  
熊本県立美術館  
八代市立博物館未来の森ミュージアム  
宇佐風上記の丘民俗資料館  
大分県先哲史料館  
宮崎県総合博物館  
みやざき歴史文化館  
椎葉民俗芸能博物館  
鹿児島県立博物館  
鹿児島市立美術館  
鹿児島県歴史資料センター黎明館  
ミュージアム知覧  
沖縄県立博物館  
名護博物館  
岐阜県博物館  
岐阜県歴史資料館  
岐阜県美術館  
岐阜県図書館  
岐阜県陶磁資料館  
岐阜市歴史博物館  
岐阜市科学館  
加藤栄三・東一記念館  
大松美術館  
各務原市歴史民俗資料館  
内藤記念くすり博物館  
森の文化博物館  
大垣市歴史民俗資料館  
タリビアセンター  
美濃和紙の里会館  
海津町歴史民俗資料館  
揖斐川町歴史民俗資料館  
可児郷土資料館  
瑞浪市化石博物館  
土岐市美濃陶磁歴史館  
中山道みたび館  
瑞浪市陶磁資料館

【博物館協会】

日本博物館協会  
全国科学博物館協議会  
全日本博物館学会  
ハイビジョンミュージアム推進協議会  
日本ミュージアム・マネジメント学会  
東海地区科学施設協議会

【役所関係】

青森県環境生活部県史編さん室  
福島県児童文化センター  
いわき市教育文化事業団  
千葉県文書館県史編さん室  
文化庁書陵部  
文部省大臣官房  
宮内庁  
東京都博物館協議会  
日本財団  
総理府男女共同参画室  
科学技術広報財団  
科学技術庁  
東京都教育庁生涯学習部文化課  
文化庁文化財保護部  
日本科学技術振興財団

愛知県総務部文書課  
通商産業省中部通商産業局  
七尾市役所観光課  
加賀市役所  
名古屋管林支局  
名古屋植物防疫所  
木曾川下流工事事務所  
木曾川上流工事事務所  
岐阜県総務部  
岐阜県企画部  
岐阜県商工労働部  
岐阜県農政部  
岐阜県衛生環境部  
岐阜県地方自治大学校  
岐阜県保健環境研究所  
岐阜県工業技術センター  
岐阜県工芸試験場  
岐阜県農業総合研究センター  
岐阜県水産試験場  
岐阜県国際センター  
岐阜県広報センター  
岐阜県生涯学習センター  
岐阜県アザイン振興会  
岐阜県研究開発財団  
岐阜県ふれあい会館  
花の都さふ推進センター  
岐阜県産業文化振興事業団  
岐阜県スポーツ振興事業団  
岐阜県冷凍教育検査事務所  
世界民俗文化センター  
岐阜県産業経済研究センター  
岐阜県企画設計センター  
岐阜県超古代文化研究会  
武儀県事務所  
武儀改良普及センター  
高富町役場  
藤橋村役場  
可児市役所  
山岡町役場  
土岐口財産区事務所  
平田町役場  
関市役所  
萩原町役場  
土岐市役所  
古川町役場  
宮村役場  
上宝村役場  
川島町役場  
大垣市立図書館  
美濃市文化会館  
関文化会館  
岐阜簡易保険事務センター  
ソフトピアジャパン  
スイトピアセンター  
各務原市民会館  
岐阜メモリアルセンター

【教育委員会関係】

北海道教育庁生涯学習部文化課  
青森県教育委員会  
東京教育庁  
調布市教育委員会  
世田谷区教育委員会  
町田市教育委員会  
相模市教育委員会  
厚木市教育委員会  
三宅村教育委員会  
藤沢市教育委員会  
加賀市教育委員会  
浜松市教育委員会  
長野市教育委員会  
名古屋市教育委員会  
岡崎市教育委員会  
西尾市教育委員会  
神奈川県教育庁文化財保護課  
岡谷市教育委員会  
佐久市教育委員会  
春日井市教育委員会  
一宮市教育委員会  
四日市市教育委員会  
亀山市教育委員会  
滋賀県教育委員会  
山東町教育委員会  
多度町教育委員会  
近江町教育委員会  
能登川町教育委員会  
田辺町教育委員会  
能勢町教育委員会  
尼崎市教育委員会  
姫路市教育委員会  
長船町教育委員会  
甘木市教育委員会教育委員会  
長崎県教育庁  
大分県立先哲史料館  
岐阜県教育委員会  
岐阜市教育委員会  
岐阜県教育センター  
岐阜県情報処理教育センター  
グリーンテクノセンター  
岐阜県文化財保護センター  
岐阜メモリアルセンター  
岐阜県生涯学習センター  
各務原市教育委員会  
真正町教育委員会  
大垣市教育委員会  
大野町教育委員会  
根尾村教育委員会  
板取村教育委員会  
八幡町教育委員会  
白鳥町教育委員会  
大和町教育委員会  
坂内町教育委員会  
洞戸町教育委員会  
本巢町教育委員会  
南濃町教育委員会  
関市教育委員会  
明室村教育委員会  
和良村教育委員会  
美濃市教育委員会  
美濃加茂市教育委員会  
可児市教育委員会  
多治見市教育委員会  
中津川市教育委員会  
恵那市教育委員会  
明智町教育委員会  
福岡町教育委員会  
久々野町教育委員会  
上宝村教育委員会  
国府町教育委員会  
富山市教育委員会  
富川村教育委員会  
岐阜市少年自然の家  
関ヶ原青少年自然の家  
御嶽少年自然の家  
岐阜県高等学校教育研究会  
岐阜県小中学校長  
岐阜教育会  
岐阜県高等学校長協会  
岐阜県PTA連合会

【学校関係】

秋田大学鉱山学部付属鉱業博物館  
山形大学付属博物館  
筑波大学歴史人類学系  
筑波大学地球科学系  
図書館情報大学付属図書館  
川村学園女子大学図書館  
東京大学  
東京大学総合研究博物館  
国学院大学博物館学研究室  
東京都立大学人文学部考古学研究室  
国学院大学考古学資料館  
東京農工大学附属繊維博物館  
東京農業大学農業資料室  
お茶の水女子大学学芸員課程  
都立大学学芸員課程  
日本大学文学部自然科学研究所  
明治大学刑事博物館  
明治大学考古学博物館  
明治大学学芸員養成課程  
学習院大学  
東京大学地震研究所  
早稲田大学文学部考古学研究室  
多摩美術大学美術学部  
実践女子大学博物館学研究室  
実践美学美術史学会  
法政大学文学部考古学研究所  
武蔵野美術大学  
東京家政学部生活文化博物館  
国際基督教大学湯浅八郎記念館  
神奈川大学日本常民文化研究所  
東海大学校内遺跡調査団  
日本大学濃獣医学部資料館  
帝京大学山梨文化財研究所  
金沢美術工芸大学図書館  
静岡大学理学部地球学科教室  
東海大学海洋科学博物館  
南山大学遺跡調査保存会  
南山大学人類学博物館  
名古屋大学古川総合研究資料館  
名古屋大学文学部美学美術史研究室  
名古屋大学大気水圏科学研究会  
市邨学園大学人文学科研究会  
日本福祉大学社会福祉総合研修センター  
市邨学園地域社会研究会  
市邨学園自然科学研究会  
愛知大学総合郷土研究所  
愛知大学文芸  
愛知大学産業館  
愛知大学博物館  
名古屋造形芸術大学図書館  
滋賀県立大学人間文化学部  
同志社大学博物館学芸院課程  
立命館大学国際平和ミュージアム  
仏教大学園部キャンパス開発室  
京都橘女子大学  
関西大学博物館  
大阪大学文学部考古学研究室  
近畿大学民俗学研究所  
天理大学付属天理参考館  
九州産業大学芸術学会  
別府大学附属博物館  
岐阜第一女子高等学校  
大垣北高等学校  
可児高等学校  
加茂高等学校  
岐阜大学教育学部  
岐阜薬科大学  
岐阜市立女子短期大学

東海女子大学  
岐阜経済大学地域経済研究所  
聖徳学園岐阜教育大学  
聖徳学園女子短期大学  
中京短期大学  
中京女子短期大学  
中部女子短期大学  
大垣女子短期大学  
岐阜医療技術短期大学  
放送大学  
自治大学

〔研究機関・出版社・その他〕

東京国立文化財研究所  
宮内庁書陵部  
宮内庁正倉院事務所  
奈良国立文化財研究所  
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館  
北海道立アイヌ民族文化研究センター  
北網圏北見文化センター  
青森県埋蔵文化財調査センター  
三内丸山遺跡対策室  
あきた結び文化研究会  
地質調査所  
水彩連盟  
千葉県文化センター  
科学技術館  
日本研究所  
北青山遺跡調査会  
板橋区四葉遺跡調査会  
足立区伊興遺跡調査会  
文化環境研究所  
日本工学会  
山武ハネウエル  
日本ユネスコ協会連盟  
日本昆虫協会  
視聴教材センター  
古文化財科学研究会  
ポーラ文化研究所  
味の素食の文化センター  
都立学校遺跡調査会  
科学技術広報財団  
溜池・駒込間遺跡調査会  
日本芸術文化振興会  
青少年交友協会  
日本ナショナルトラスト  
インドネシア・ニホン友好会  
三貴  
東京貝類同好会  
地下鉄七号線白金工事事務所遺跡調査会  
練馬区遺跡調査会  
センチュリーミュージアム  
丹精総合研究所・文化空間研究所  
マルチメディア振興センター  
宇宙開発事業団  
金属鉱業事業団資源情報センター  
朝日新聞社出版局  
安田生命クオリティオブライフ文化財団  
アジア女性基金  
ザ・ミュージアム  
地域創造  
西国分寺地区遺跡調査会  
東京埋蔵文化財センター  
日野市落川遺跡調査会  
落川・一の宮遺跡調査会  
武蔵国分寺関連遺跡調査会  
府中病院内遺跡調査会  
御殿場遺跡調査会  
社会教育研修所  
衣生活研究所

神奈川県埋蔵文化財センター  
玉川文化財研究所  
神奈川県教育庁文化財保護課  
川崎市立日本民家園  
平岡環境科学研究所  
横須賀市遺跡調査団  
神奈川県立自然保護センター  
神奈川県立自然保全研究会  
長野県埋蔵文化財センター  
富山県埋蔵文化財調査事務所  
富山県埋蔵文化財センター  
富山市ファミリーパーク公社  
静岡県埋蔵文化財調査研究所  
犬山市文化資料館  
愛知県文化振興事業団  
中部産業活性化センター  
中部建設協会  
名古屋美術青年会  
美術文化史研究会  
行動と文化研究会  
考古学フォーラム  
瀬戸市埋蔵文化財センター  
豊橋市埋蔵文化財調査事務所  
愛知県埋蔵文化財センター  
津市埋蔵文化財センター  
四日市市遺跡調査会  
青山町埋蔵文化財調査事務所  
三重県大型化石発掘調査団  
三重自然誌の会  
三重動物学会  
三重県埋蔵文化財センター  
滋賀県埋蔵文化財協会  
秀明文化財団  
日本イムワシ研究会  
坂田郡社会教育文化財部会  
京都服装文化研究財団  
国民融合をめざす部落問題全国会議  
古代学協会  
名神高速道路内遺跡調査会  
国際日本文化研究センター  
道修町文書保存会  
日本生命財団  
尼崎市立文化財収蔵庫  
大阪府文化財調査研究センター  
クボタ  
のじぎく文化財保護研究財団  
黒川古文化研究所  
奈良県立同和問題関係史料センター  
帝塚山考古学研究所  
元興寺文化財研究所  
シルクロード学研究センター  
岡山県自然保護センター  
宮島町立宮島歴史民俗資料館  
広島県歴史科学教育事業団  
広島城  
熊平制作所  
巖島神社社務所  
下関市立考古博物館  
徳島県埋蔵文化財センター  
福岡市埋蔵文化財センター  
鹿児島県立埋蔵文化財センター  
岐阜県文化財保護協会  
中山道加納宿文化保存会  
岐阜県超古代文化研究所  
岐阜県ユネスコ協会  
岐阜県歴史資料保存会  
岐阜市教育文化振興事業団  
岐阜史学会  
岐阜県植物研究会  
創価学会岐阜県広報部

惣斎研究会  
各務原市埋蔵文化財調査センター  
岐阜県昆虫同好会  
養老文化財保護協会  
垂井町文化財保護協会  
東海地理研究会  
美濃民俗文化の会  
霊山顕彰会岐阜県支部  
地域経済研究所  
岐阜県哺乳動物調査研究会  
八幡町文化財保護協会  
美濃文化財研究会  
武儀農業改良普及センター  
武儀福祉事務所  
瑞浪市文化協会  
多治見市文化財保護センター  
土岐市埋蔵文化財センター  
高山市歴史研究会  
白川郷合掌造り民家園  
合掌造り集落世界遺産記念事業実行委員会  
NHK岐阜放送局  
飛騨考古学会  
芸術出版社  
郷土出版社  
美術倶楽部  
遊美の会  
日本美術刀剣新聞社  
岩波書店  
ぎょうせい  
雄山閣出版  
統群書類従完成会  
東京美術  
講談社  
コクヨ  
美濃揖斐谷通信編集室  
郡上史談会  
書道心画院  
北白川書房  
西美濃わが街社  
飛騨山王宮日枝神社  
岐阜新聞社  
金生山化石研究会

〔個人〕

吉崎宏  
船越進太郎  
清水広美  
川瀬仙吉  
石原宣夫  
尾関章  
山本珠美  
田口慶昭  
須賀英文  
岩田悦行  
説田健一  
長尾伴文  
長谷虎治  
太田淳  
梶田澄雄  
田中守男  
数下治  
宮崎悟  
曾我隆行  
伊藤康子  
以上

## 〔利用状況〕

### 1 入館者数

本年度は、入館者数 55,757人で前年に比べて 14,093人 20.2%の減少となった。これは、3年に一度の全館くん蒸実施による臨時休館等の影響による。

また、開館日数は 298日であり、1日平均の入館者数は 187人であった。また、1日の入館者が最も多かった日は、5月5日で 768人を数えた。

月別の入館者数は右表のとおりである。

団体入館者数をみると 1,579人で、入館総数の約 2.8%であった。月別では 11月が 305人で一番多く、団体入館者総数の 19.3%を占めている。

春季特別展及び秋季特別展期間中の入館者数は右表のとおりである。入館総数は 26,721人を数え、1日平均は 278人であった。

月	小中高生	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	2,430	57	2,289	4,776	26	184
5	2,810	66	4,964	7,840	27	290
6	706	30	1,872	2,608	18	145
7	1,020	22	2,132	3,174	27	118
8	3,900	161	4,221	8,282	27	307
9	1,075	131	2,842	4,048	25	162
10	5,772	32	3,609	9,413	27	349
11	2,227	42	3,508	5,777	26	222
12	476	55	768	1,299	22	59
1	518	37	1,466	2,021	23	88
2	747	64	1,371	2,182	24	91
3	1,265	53	3,019	4,337	26	167
計	22,946	750	32,061	55,757	298	187

特別展名	期間	小中高生	大学生	一般	計
花と鳥のイリュージョン	4/25-6/1	3,985	101	6,514	10,600
薬草のふるさと伊吹	9/13-11/9	8,018	146	7,957	16,121
計		12,003	247	14,471	26,721

### 2 施設利用

今年度の講堂及び研修室の利用者は、次のとおりであった。

〈講堂〉

4/6	岐阜県歩け歩け協会総会
5/28	岐阜県小学校社会科研究会代議員会
6/5	岐阜県高等学校教育研究会公民・地歴部総会
6/7	岐阜県中学校技術・家庭科研究部会代議員会
7/8	岐阜市小学校教頭会
7/12	美濃地区心身障害児(者)育成会研究大会
8/7	岐阜市校外研修生活部会
8/19	岐阜県中学校理科研究部会
9/25	美濃地区高等学校教頭会
10/26	関市働く親家庭教育学級
11/6	神戸町社会教育学級薬草教室
11/20	岐阜県高等学校理化教育研究会物理研究大会
2/7	岐阜県中学校技術・家庭科研究部会代議員会

〈研修室〉

6/24	山岡町文化財審議会委員研修会
6/27	美濃市小学校理科研究会
7/4	武儀郡校長会研修会
8/5	関市少年少女科学教室
8/6	関市少年少女科学教室
8/8	美濃地区小学校社会科研究会夏季ゼミナール
9/9	岐阜市中学校教頭会研修会
10/23	春日村薬草研究研修会
10/31	岐阜県生涯学習情報提供委員会
11/11	岐阜県高等学校理科野外学習講座
11/22	岐阜県シダ植物研究会
2/6	関市小中学校教育研究会中学校理科部会

## 〔博物館関係団体〕

### 1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座(年4回)、機関紙発行(季刊)、会員研修会(年3回)等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように努力した。

平成10年3現在、会員館園は137、個人会員は23名主な役員は次のとおり。

名誉会長…梶原拓 会長…浅野勇 副会長…青木允夫、土野守、高田晃 理事長…松本五三 事務局は岐阜県博物館内にある。

〈主な事業〉

5/11	第72回公開講座
5/12	第1回役員会及び通常総会
6/19~20	東海地区博物館連絡協議会総会
6/25	第37回会員研修会
7/18	第73回公開講座
7/31	機関紙「岐阜の博物館」第118号発行
9/21	第74回公開講座
9/24~25	第38回会員研修会
10/2~3	東海三県博物館協会交流研修会
10/31	機関紙「岐阜の博物館」第119号発行
11/5~6	全国博物館大会
11/27	第39回会員研修会
1/31	機関紙「岐阜の博物館」第120号発行
2/14	第75回公開講座
2/14	公開講座委員会
2/17	会員研修委員会
3/9	常任理事会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第121号発行

## 2 岐阜県博物館友の会

設立15年の節目となった今年度は、一般会員625名、後援会員32口を数え、昨年度来、六百数十名の会員数が定着してきた感がある。

会員個々の生涯学習活動への旺盛な参加意欲は依然として強く、加えて岐阜県博物館を側面から支える友の会員としての自覚も増大した。事業や研修の内容も更に充実し、密度の濃いものとなったことは参加者の増加や感想で裏付けることができた。

会員が熱望している主催事業の探訪の旅は、第5回海外探訪を「シルクロードを訪ねて～西安からウルムチまで～」として行った。

西安（半坡遺跡、興教寺、兵馬俑博物館、乾陵、嘉峪関等）、敦煌（莫高窟、陽関、鳴砂山、敦煌博物館等）、トルファン（ベゼクリク千仏洞、アスターナ古墳、高昌故城、火焰山、交河故城等）、ウルムチ（新疆博物館、紅山、天池等）を見学し、主な施設では現地職員から解説を受ける機会を持ち、参加者一同大きな感銘を受け、中国シルクロード各地の歴史、文化、芸術等を深く研修することができた。

海外探訪の旅については、引き続き実施の要望が強く、平成10年度は世界遺産の島「マルタ」とルネッサンス文化の国「イタリア」を探訪する計画を進めている。



国内探訪の旅は、兵庫（丹波焼）と滋賀（三井寺）、長野（諏訪大社、ルネラリック美術館、光前寺）、滋賀（琵琶湖博物館、近江神社）の3回を日帰り探訪の旅として実施した。いずれも、日程の中に館職員などによる歴史的背景を含めた解説をとりいれて好評を得、定員を超える参加者のもと盛況な研修会となった。

第8回文化講演会は、京都大学名誉教授・清水善三氏による「京都の仏像と奈良の仏像」の講演を当館ハイビジョンホールで実施した。ホール満席の参加者を集め、最後まで熱心に聴講した。

特別行事「七草がゆを食べよう」は、会員の手作り行事として定着しており、当日は三百名を超す七草ファンが味よく炊きあがった「かゆ」をたべ、和気あいあいの中、一年の無病息災を祈った。終了後、反省会を持った。

博物館事業の普及活動については、春・秋の特別展の図録等の作成や需要の大きい図録の増刷を行い、県広報センター、木曾三川公園、海津町歴史民俗資料館等に販売を委託し、広く県民に購読を願った。

岐阜県博物館の運営に関する「5則」に示されている「博物館事業の普及、会員相互の教養と親睦」を深めることを目指した友の会の活動が「魅力ある博物館」「誰でも気軽に参加できる博物館」の健全な運営の一翼を担うことができるよう、創意工夫ある企画を進めたい。



平成9年度の主な事業、行事は次のとおりである。

- 1 会議
 

役員会	4月28日	友の会総会	4月28日
役員会	7月17日、11月9日	三役会	1月20日
- 2 研修事業
  - (1)探訪の旅
 

シルクロードを訪ねて	5/13～5/22	54名
丹波焼、三井寺を訪ねて	9/7	125名
諏訪大社、ルネラリック美術館、光前寺を訪ねて	11/16	91名
琵琶湖博物館、近江神社を訪ねて	3/8	80名
  - (2)文化講演会
 

「京都の仏像と奈良の仏像」	11/9	120名
---------------	------	------
- 3 会報発行
 

第51号～第54号	A4 6頁	各550部
-----------	-------	-------
- 4 資料など作成頒布
  - (1)特別展図録「花と鳥のイリュージョン」 1,100部  
「薬草のふるさと伊吹」 1,200部
  - (2)図録の増刷「輪中と治水」 1,000部  
「岐阜の淡水魚」 1,500部  
「失われゆく植物」 1,000部
  - (3)岐阜県博物館総合案内などの頒布
- 5 その他
  - (1)博物館との共催事業の実施
 

特別行事	「百年公園・博物館を写生しよう」
	「七草がゆを食べよう」
	たのしい博物館「クイズで探検！博物館」
博物館講座	「古寺を訪ねて」
  - (2)会員入館料の補助と寄贈
 

特別展・常設展入館料補助、図書資料寄贈
---------------------

## IV 利用案内 (平成10年度)

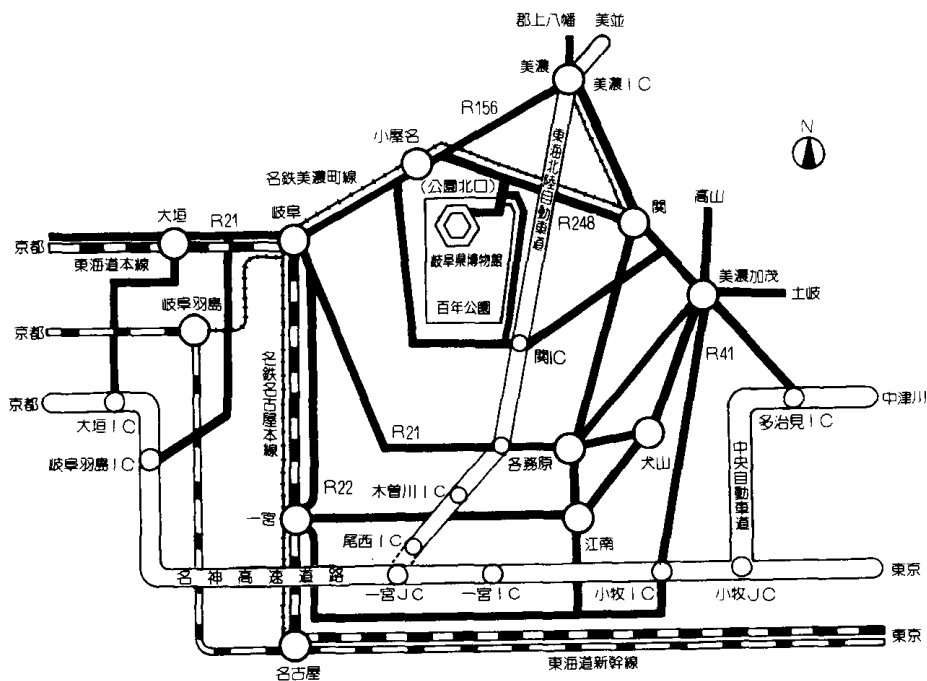
- 開館時間 4月1日～10月31日 9時～16時30分  
11月1日～3月31日 9時30分～16時30分  
(入館は16時まで)

- 入館料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	320円	260円
大学生	110円	50円
小・中・高	無料	無料

※特別展開催中は入館料がかかります。

- 休館日 月曜日(月曜日が祝日にあたる時は翌日)  
年末年始(12月27日～翌年1月4日)
- 駐車場 博物館には駐車場がありませんので、百年公園の駐車場をご利用ください。  
駐車料金…普通(軽)自動車300円、バス820円
- 交通 名鉄美濃町線 小屋名駅下車 徒歩約15分  
岐阜バス 小屋名下車 徒歩約15分  
自家用車をご利用の場合は、百年公園北口からお入りください。



〒501-3941 岐阜県関市小屋名字小洞1989 (0575)28-3111(代表) FAX(0575)28-3110

岐阜県博物館報 第21号 編集発行 岐阜県博物館  
平成10年(1998) 4月1日発行 印刷 株式会社 ダイキユー